

# 工事名 R8 教委総工第2号神埼小学校屋根・外壁改修工事

図面リスト					
図番	図面名	図番	図面名	図番	図面名
(建築)					
A-1	表紙・図面リスト	A-11		A-21	改修中央渡り廊下矩計詳細図
A-2	特記仕様書(建築改修)その1	A-12	2階平面図	A-22	1階天井伏図
A-3	特記仕様書(建築改修)その2	A-13	3階平面図	A-23	2階、3階天井伏図
A-4	特記仕様書(建築改修)その3	A-14	R階平面図	A-24	パラペットアルミパネル詳細図
A-5	特記仕様書(建築改修)その4	A-15	立面図2-1(北棟)	A-25	建具リスト
A-6	特記仕様書(建築改修)その9	A-16	立面図2-2(北棟)	A-26	外壁改修工事標準仕様書
A-7	付近見取図・配置図・仮設計画図	A-17	立面図3(北棟)		
A-8	外部仕上表(1)	A-18	立面図4(北棟)		
A-9	外部仕上表(2)	A-19	現況矩計詳細図		
A-10	劣化診断数量表・外壁改修工法選定フロー	A-20	改修矩計詳細図		

共通事項	設計変更年月日	工事名 神埼小学校屋根・外壁改修工事	設計図	縮尺 NOSCALE	神埼市教育委員会	図番 1/A
	1回 年 月 日					
	2回 年 月 日					
	3回 年 月 日	図面名 表紙・図面リスト	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里2225-11 TEL 0957-53-5994 FAX 0957-52-8305	



2 監督員事務所

・設ける ※設けない [2.4.1]

面積規模 ( ) m<sup>2</sup>程度

監督員スペースと工事監理業務の職員スペースは隣接切替等で仕切る

監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート貼り
内壁、天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂珪藻土ボード張り
屋根	塗装珪藻土粘りめっき鋼板張り又は鉄板張り、鋼合板ボード張り

◎現場事務所内に監督員作業スペースを設け、施工計画書等を備える

5 工事用水

構内既存の施設 ・利用できる ( ※有償 ・無償 )  
※利用できない

6 工事用電力

構内既存の施設 ・利用できる ( ※有償 ・無償 )  
※利用できない

7 指定仮設等

指定仮設の種類 (種類、箇所、規格、数量を明示)

◎仮置い 単管パイプシート張りH2.0 40m (6カ月)

◎カゴシート W6.0×H1.8片開き(6カ月)

◎交通誘導員B 30人

上記に該当しない仮設については、全て任意仮設とし、請負者の創意工夫により施工すること。

施工にあたっては、施工計画書に工法・数量を明示し、監督員に提出すること。

なお、任意仮設のため、仮設工法の変更に伴う数量変更や工期変更は行わない。

1 埋戻し及び盛土

埋戻し A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1)

C種の場合  
(発生場所: )  
(埋戻し先: )  
(埋戻し: 発生原因別 ・ 工事 ) km

2 建設発生土の処理

・構外指示の場所 (3.2.5)

受け入れ施設 ( )

受け入れ場所との距離 ( ・ 敷きならし ※たい積 )

搬出距離 ( ) km

上記に示す受け入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督員と協議の上決定する

・構内指示の場所

処理の場所 ※図示 ( )

処理の方法 ( ・ 敷きならし ※たい積 )

3 防水改修工事

1 共通事項

施工標準 ※監督員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

改修用ドリル (PGAS, POAS1, POD, POD1, POS, POS1, POX工法の場合)  
※取付方法等は、M-フィンガ類製造所の仕様による

2 降雨等に対する養生方法 (とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による [3.1.3]

3 既存防水の処理

既存保護層の撤去 (3.1.4)(3.2.3.4.6)

・行う (範囲 ・ 図示 )

・行わない

既存防水層の撤去

・行う (範囲 ・ 図示 )

・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装撤去

・行う ( ・ M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ L4X )

・行わない

4 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6]

◎図示

PO5工法及びPO5I工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置  
※改修標準仕様書3.2.6(4)(a)①~③による

設備機架台、配管架台、パイプ架、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処置  
◎監督員と協議する ・ 図示

5 防水防雨

防水層の種類 (既存: 屋根保護防水) [3.3.2~5][表3.3.3~10]

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・ P2A	・ A-1 ※A-2 ・ A-3			※ 70g/㎡程度 厚0.15mm以上
・ P1B	・ B-1 ※B-2			
・ P2A1	・ A1-1 ※A1-2 ・ A1-3		(種類) ※JIS A 8221に基づく押出法製 ポリイソシアヌレートフォーム(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	※70g/㎡程度
・ P1B1	・ B1-1 ※B1-2		(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	

立上り部の保護

・ 乾式保護材

窯業系繊維1類

厚さ ( ) mm

幅 ( ) mm

(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

・ コンクリート押え

・ れんが押え ( )

・ モルタル押え (屋内等)

改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※水下 80mm以上

床タイル張り ※水下 80mm以上

防水層の種類 (既存: 屋根露出防水)

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・ M4C	・ C-1 ※C-2 ・ C-3 ・ C-4			
・ M3D	・ D-1			
・ POD	※D-2			
・ POD1	・ D1-1		改修標準仕様書3.3.2(9)	
・ M3D1	※D1-2		(種類)	
・ M4D1			(厚さ) ・ 25mm	

仕上塗料

種類 ・ 製造所の指定による

使用量 ・ 製造所の指定による

高日射反射率防水の適用 [G] ・ 有 ・ 無

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

改修用ドリル ・ 設ける ・ 設けない

脱気装置の種類及び設置数量  
※アクリル樹脂M-フィンガ類製造所の指定による

改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

絶縁断熱工法のM-フィンガの回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置  
※図示

防水層の種類 (屋内防水)

工法	種別	施工箇所	備考
・ P1E	・ E-1		保護層
・ P2E	※E-2		・ 設ける ( ・ 図示 ) ・ 設けない

・ E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位

押え金物の材質及び形状  
※70g/㎡ L=30×15×2.0mm程度

屋根排水溝 ※図示

6 改質アクリル樹脂M-フィンガ

防水層の種類 [3.4.2~4][表3.4.1~3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2			
・ M3AS	・ AS-T3 ※AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			
・ M3AS1	・ AS1-T1		改修標準仕様書3.3.2(9)	
・ M4AS1	・ AS1-J1		(種類)	
・ POAS1			(厚さ)	

仕上塗料

種類 ・ 製造所の指定による

使用量 ・ 製造所の指定による

高日射反射率防水の適用 [G] ・ 有 ・ 無

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

改修用ドリル ・ 設ける ・ 設けない

改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による

粘着層付改質アクリル樹脂M-フィンガの種類及び厚さ  
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による

脱気装置の種類及び設置数量  
※改質アクリル樹脂製造所の指定による

押え金物の材質、形状及び寸法  
※70g/㎡ L=30×15×2.0mm程度

防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・ POS	・ S-F1			
・ S4S	・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2			
・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2			
・ M4S	・ S-M1 ・ S-M2			
・ POS1	・ S1-F1		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)	
・ S3S1	・ S1-F2		(種類)	
・ S4S1			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	
・ M4S1			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	
	・ S1-M1 ・ S1-M2		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)	
			(種類)	
			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	

仕上塗料

種類 ・ 製造所の指定による

使用量 ・ 製造所の指定による

高日射反射率防水の適用 [G] ・ 有 ・ 無

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

改修用ドリル ・ 設ける ・ 設けない

S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ・ 設置する ・ 設置しない

経歩行仕様の有無 ※無 ・ 有

防水層の種類 (屋内防水)

種別	施工箇所	備考
・ S-O1		平場の保護層 保護層の張り厚さ
		立上り部の保護層の張り厚さ ※70g/㎡以下

7 合成高分子系M-フィンガ

防水層の種類 [3.5.2~4][表3.5.1~3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	備考
・ POS	・ S-F1			
・ S4S	・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2			
・ S3S	・ S-F1 ・ S-F2			
・ M4S	・ S-M1 ・ S-M2			
・ POS1	・ S1-F1		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)	
・ S3S1	・ S1-F2		(種類)	
・ S4S1			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	
・ M4S1			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	
	・ S1-M1 ・ S1-M2		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)	
			(種類)	
			(厚さ) ・ 25mm ・ 50mm	

仕上塗料

種類 ・ 製造所の指定による

使用量 ・ 製造所の指定による

高日射反射率防水の適用 [G] ・ 有 ・ 無

脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

改修用ドリル ・ 設ける ・ 設けない

S1-M1及びS1-M2の場合の防湿用フィルム ・ 設置する ・ 設置しない

経歩行仕様の有無 ※無 ・ 有

防水層の種類 (屋内防水)

種別	施工箇所	備考
・ S-O1		平場の保護層 保護層の張り厚さ
		立上り部の保護層の張り厚さ ※70g/㎡以下

8 塗膜防水

平場の保護層の張り

工法 ※改修標準仕様書6.15.6(c)(2)及び(3)に準ずる

下地処理 ※改修標準仕様書6.15.6(b)(1)に準ずる

床塗りの場合の床の目地

目地割り ・ 2m程度 最大目地間隔3m程度

目地の種類 ※押し目地

M-フィンガの種類及び厚さ

種類 ・ 厚さ ・ mm

※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による

絶縁シート及び可塑性移行防止用シートの材質  
※発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質及び寸法形状  
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

脱気装置の種類及び設置数量

種類 ※M-フィンガの製造所の仕様による

設置戸数 ※M-フィンガの製造所の仕様による

接着工法の目地処理

・ プラスチックシート下地 ( )

S-F1, S1-F1の場合のプラスチックシート材の隅部の増張り

・ 行う ( ・ 図示 )

機械的固定工法の場合の一般部のM-フィンガの強付け

1章 適用区分による風圧力の ( ・ 1.0 ・ 1.15 ・ 1.3 ) 倍の風圧力に対応した工法

9 シーリング

工法	種別	施工箇所	仕様	使用量
◎POX	・ X-1 ◎X-2	・ X-IH ・ X-2H	※製造所の仕様	※製造所の仕様
・ L4X	・ X-1 ・ X-2	・ X-IH ・ X-2H	※製造所の仕様	※製造所の仕様

アクリル系塗膜防水(JISA6201屋根用)  
高日射反射率防水の適用 [G] ・ 有 ・ 無

ウレタン系高伸長形及び高強度形塗膜防水X-1, X-IH (絶縁工法)  
の脱気装置の種類及び設置数量

種類 ※主材料の製造所の仕様による

設置戸数 ※主材料の製造所の仕様による

工法	種別	施工箇所	各工種及び工程の使用量	保護層
・ PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない

シーリング 改修工法の種類 (3.1.4)(3.7.2~7)(表3.7.1)

・ シーリング 充填工法

◎シーリング 再充填工法

・ 塗膜シーリング 再充填工法

・ プラック工法

・ シーリング材の張り

・ シーリング材の張り

・ 適用する ・ 適用しない

・ 適用する ・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
サツ廻り、水切り	変性シリコン(MS-2)15×10
打撃目地、誘発目地	変性シリコン(MS-2)20×10

シーリング材の目地寸法 ※図示

接着性試験 (3.7.8)

◎簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

3 10 とい

既存のこの他の撤去及び補修等に対する養生方法 ※図示

鋼管製といの防錆巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による

とい受食物  
材種 ・鋼製（亜鉛めっき） ※スチール製（SUS304） [表3.8.2]  
形状 ※市販品（とい径100以下）  
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）  
取付間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による

足食物  
材種 ・鋼製（亜鉛めっき） ※スチール製（SUS304） [表3.8.2]  
形状 ※市販品  
取付間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による

ボードの取付け  
※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間に充填

電食の恐れがある場合は、監督員と協議するものとする

[3.9.2][表3.9.1]

施工箇所	種類	製品幅	最小厚	表面処理
パレット	オープン	・ 押出し250形 ※250	※1.6	※AB-1種
	形式	・ 押出し300形 ※300	※1.8	又は BB-1種
		・ 押出し350形 ※350	※2.0	
シート形式	・ 板材折曲げ形	※2.0		

板材折曲げ形の付属部品の材料及びコーナー部、突当り部等の取付  
○製造所の仕様による

既存柱木の撤去 ・ 行う（範囲・図示）  
・ 行わない

下地補修の工法 ※図示

板材折曲げ形の柱木の取付方法 ※図示

板上設置部材の取付方法 ※無

柱木の固定金具の取付方法  
（※ 適用区分による風圧力の（・1.0 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

※金属屋根工事及び防水工事については、10年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること  
・金属屋根工事及び防水工事については、（10）年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること

種別	材質	径	施工箇所	備考
たてどい	・ 建築用強化ビニル管			
	・ 配管用鋼管			
	・ スチール製			
新しい	・ 建築用強化ビニル管（カラー）			
	・ スチール製			

[3.8.3]

種別	呼び	施工箇所	材種
・ 広く屋根用	・ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125	
	・ たて形	・ 150	
・ 広く屋根用	・ ねじ込み式	・ 80 ・ 100 ・ 125	
	・ よこ形	・ 150	
・ パネル用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100	
・ パネル用	・ ねじ込み式	・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・ 差し込み式	・ 50 ・ 75 ・ 100	

防露材の475g/㎡放散量  
※☆☆☆☆

既存のこの他の撤去及び補修等に対する養生方法 ※図示

鋼管製といの防錆巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による

とい受食物  
材種 ・鋼製（亜鉛めっき） ※スチール製（SUS304） [表3.8.2]  
形状 ※市販品（とい径100以下）  
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）  
取付間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による

足食物  
材種 ・鋼製（亜鉛めっき） ※スチール製（SUS304） [表3.8.2]  
形状 ※市販品  
取付間隔 ※改修標準仕様書表3.8.2による

ボードの取付け  
※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間に充填

電食の恐れがある場合は、監督員と協議するものとする

[3.9.2][表3.9.1]

施工箇所	種類	製品幅	最小厚	表面処理
パレット	オープン	・ 押出し250形 ※250	※1.6	※AB-1種
	形式	・ 押出し300形 ※300	※1.8	又は BB-1種
		・ 押出し350形 ※350	※2.0	
シート形式	・ 板材折曲げ形	※2.0		

板材折曲げ形の付属部品の材料及びコーナー部、突当り部等の取付  
○製造所の仕様による

既存柱木の撤去 ・ 行う（範囲・図示）  
・ 行わない

下地補修の工法 ※図示

板材折曲げ形の柱木の取付方法 ※図示

板上設置部材の取付方法 ※無

柱木の固定金具の取付方法  
（※ 適用区分による風圧力の（・1.0 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法

※金属屋根工事及び防水工事については、10年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること  
・金属屋根工事及び防水工事については、（10）年間の施工保証とし、保証書は元請業者と施工業者の連名とすること

4 外壁改修工事

1 可とう性  
球状樹脂 [4.2.4]

2 パネル状  
球状樹脂 [4.2.4]

3 球状樹脂 [4.2.4]

4 ガーメント [4.3.5]

5 ガーメント [4.3.5]

6 既製鋼合板 [4.4.5]

7 外壁改修数量表 ※図示による

4-1 外壁改修工事  
コンクリート打ち直し仕上げ

1 ひび割れ部  
改修工法

2 欠損部改修工法

9 欠損部改修工法

(品質・性能・試験方法) JIS A 6024  
建築材料等品質性能表による

(品質・性能・試験方法) JIS A 6024  
建築材料等品質性能表による

(品質・性能・試験方法) JIS A 6024  
建築材料等品質性能表による

(性能)  
建築材料等品質性能表による

広がり速度	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化率)
cm/s	%	N/mm2	N/mm2	%	N/mm2
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上
保水係数	0.35~0.55				
粘着係数	0.50~1.00				

球状樹脂とした球状樹脂に使用する弾力性樹脂として、セメント、細骨  
材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。  
(品質・性能・試験方法)  
建築材料等品質性能表による

※図示による

・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5][4.2.4~7]

工法の種類	ひび割れ幅 mm	ひび割れ幅 mm	注入量 ml/m
※自動低圧球状樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	・
・ 手動式球状樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・ 50~100	・
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・ 100~200	・
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	・ 150~250	・

注入状況の確認方法 ※7採取を行う  
採取回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個

採取部の補修方法 ※図示

・ Uカット材充填工法  
・ シール材  
充填材料 ※1成分形又は2成分形樹脂

・ ガーメントの充填 ※行う ・ 行わない  
・ 可とう性球状樹脂

・ シール工法  
・ パネル工法  
・ 可とう性球状樹脂

充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.2.8]  
※球状樹脂  
※ガーメント

4-2 外壁改修工事  
モルタル塗り仕上げ

1 既存球状樹脂の撤去 [4.3.2]

2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.5~8]

3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.3.9、10]

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.3.11~16]

・ 行う（全面 ※図示の範囲） [4.3.2]

・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.5~8]

工法の種類	ひび割れ幅 mm	ひび割れ幅 mm	注入量 ml/m
※自動低圧球状樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	・
・ 手動式球状樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・ 50~100	・
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・ 100~200	・
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	・ 150~250	・

注入状況の確認方法 ※7採取を行う  
採取回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個

採取部の補修方法 ※図示

・ Uカット材充填工法  
・ シール材  
充填材料 ※1成分形又は2成分形樹脂

・ ガーメントの充填 ※行う ・ 行わない  
・ 可とう性球状樹脂

・ シール工法  
・ パネル工法  
・ 可とう性球状樹脂

※充填工法 [4.1.4][4.3.9、10]  
※球状樹脂  
※ガーメント

・ 樹脂塗替え工法  
・ 現場調査材料  
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)  
・ 既製鋼合板  
既製鋼合板 ・ 使用する (形状)  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置  
※図示

工法の種類	アンカー本数 本/m <sup>2</sup>		注入箇所数 箇所/m <sup>2</sup>		注入量 ml/箇所
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・ アンカー部分 球状樹脂注入工法	※16	※25	-	-	※25
・ アンカー全面 球状樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・ アンカー全面 ガーメント注入工法	※13	※20	※12	※20	※50
・ 注入口付アンカー部分 球状樹脂注入工法	※9	※16	-	-	※25
・ 注入口付アンカー全面 球状樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・ 注入口付アンカー全面 ガーメント注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・ 充填工法	-	-	-	-	-
・ モルタル塗り替え工法	-	-	-	-	-

アンカー  
※スチール製(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカー  
※スチール製(SUS304)呼び径6mm程度

充填工法  
※球状樹脂  
※ガーメント

樹脂塗替え工法  
・ 現場調査材料  
(セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による)  
・ 既製鋼合板  
既製鋼合板 ・ 使用する (形状)  
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置  
※図示

4-3 外壁改修工事  
タイル張り仕上げ

1 既存球状樹脂の撤去 [4.4.2~4]

2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.5][4.4.5~6]

3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.4.5][4.4.7~9]

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.4.5][4.4.9~15]

・ 外壁球状樹脂全面  
撤去範囲  
※下地球状樹脂まで ・ 弾力性樹脂まで ・ 球状樹脂のみ

樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅 mm	ひび割れ幅 mm	注入量 ml/m
※自動低圧球状樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	※200~300	※130
・ 手動式球状樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・ 50~100	※40
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・ 100~200	※70
・ 機械式球状樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	・ 150~250	※130

注入状況の確認方法 ※7採取を行う  
採取回数 ※長さ500mごと及びその端数につき1個

採取部の補修方法 ※図示

・ 欠損部補修工法 [4.1.4][4.4.5][4.4.7~9]  
・ 弾力性樹脂  
・ ガーメント  
・ JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

・ 樹脂塗替え工法  
弾力性樹脂  
・ 弾力性樹脂 (・ 現場調査材料 ・ 既製鋼合板)  
・ JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ調整目地  
位置 ※改修標準仕様書表4.4.2による

球状樹脂下地等の下地球状樹脂の接着剤試験  
・ 行う ・ 行わない

・ 球状樹脂による球状樹脂(セメント)張り  
下地球状樹脂を行うコンクリート素地の処理  
・ 目隠し工法(改修標準仕様書表4.4.9(3)による)

球状樹脂の工法  
外壁コンクリート  
・ マル張り  
外壁球状樹脂  
・ 密着剤  
・ 改良圧着張り ・ 改良粘り上げ張り

シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による

・ 有機系接着剤による球状樹脂(セメント)張り  
球状樹脂を行うコンクリート素地の処理  
・ 目隠し工法(改修標準仕様書表4.4.9(3)による)

シーリング材の種類  
伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコン系  
・ 弾力性樹脂系  
打継ぎ目地、ひび割れ調整目地 ※弾力性樹脂系

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

アンカー  
※スチール製(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

注入口付アンカー  
※スチール製(SUS304)呼び径6mm

4-3 張り

・ 4/8部分張替え工法  
張付け材料  
・ 4/8部分張替え工法  
張付け材料  
・ 4/8部分張替え工法  
張付け材料  
・ 4/8部分張替え工法  
張付け材料

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地  
位置 ※ 改修標準仕様書4.5.11による

4/8張り下地等の均し処理の接着力試験  
・ 行う ・ 行わない

・ セントモルチによる4/8(5/8)張り  
下地モルタル塗りを行うコンクリート床地面の処理  
・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による)

4/8張りの工法  
外装4/8  
外装コンクリート

有機系接着剤による4/8(5/8)張り  
均し処理を行うコンクリート床地面の処理  
・ 目荒らし工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による)

シーリング材の種類  
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地  
※ 4/8部分張替え工法  
伸縮調整目地その他の目地  
※ 4/8部分張替え工法  
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による

・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.16]  
・ 伸縮調整目地改修工法  
伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示

5 目地改修工法 [4.1.4][4.4.16]

6 4/8の形状、寸法等 [4.4.5]

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	浸水率による区分		うわぐすり	食物	色	再生材の適用	耐摩	耐凍	耐凍	耐凍
			1級	2級								

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

2 仕上塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料の揮発性有機化合物(VOC)放散量 [4.1.5][4.5.6][表4.5.8]  
※ F☆☆☆☆

新規仕上塗材の種類

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材SI ・ 可とう形外装薄塗材SI ・ 外装薄塗材E ・ 可とう形外装薄塗材E ・ 防水形外装薄塗材E ・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ (吹付け・R-5塗り) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ (吹付け・こて塗り) ・ 茶色骨材砂壁状 ・ (吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 茶壁状じゅらく	
・ 厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E	・ 吹放し ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし	・ 凸部処理 ・ 凹凸状 ・ 凹凸状 ・ 凹凸状 ・ 凹凸状
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材CE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 複層塗材SI ・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ 耐候性 ・ 耐候性2種 ・ 耐候性1種 ・ 上塗材 ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやなし ・ マリカ	・ 適用する ・ 適用しない ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 ・ 耐候性3種 ・ 耐候性2種 ・ 耐候性1種 ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやなし ・ マリカ

○ 可とう形改修用仕上塗材

種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法
○ 可とう系改修塗材E	○ 可とう系改修塗材RE	○	・ 平たん状 ・ ゆず肌状 ・ 耐候性 ・ 耐候性2種 ・ 耐候性1種 ・ 上塗材 ・ 溶媒 ※ 水系 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやなし ・ マリカ

3 マスチック塗料塗り [4.6.2][表4.6.1]

4 外装用塗膜防水材塗り [4.1.5][4.7.2][表4.7.1]

仕上塗料の耐候性 ・ JIS A 6809の耐候性1種相当

塗膜材の種類

仕上塗料の種類

下地準拠樹脂材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処置  
※ 改修特記仕様書4章 外装改修工事(コンクリート打ち上げ外壁改修)による

4/8面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処置  
※ 改修特記仕様書4章 外装改修工事(4/8塗り仕上げ外壁改修)による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整  
改修特記仕様書4章 外装改修工事(塗仕上げ外壁改修)による

5 建築改修工事

1 改修工法 [5.1.3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去方法	適用箇所
○ 7/8部分張替え	○ カ'工法	○ 取り	○ 建具表による
・ 樹脂製建具	・	・	・ 建具表による
・ 樹脂製建具・外部	・	・	・ 建具表による
・ 樹脂製建具・内部	・	・	・ 建具表による
・ 鋼製建具	・	・	・ 建具表による
・ スチール製建具	・	・	・ 建具表による
・ 木製建具	・	・	・ 建具表による

新規に建具を設ける場合  
壁部分の開口の明け方 ※ 図示  
新規建具周囲の精修工法及び範囲 ※ 図示

建具周囲のシリングは、改修特記仕様書3章 防水改修による

2 防火戸 [5.1.4]

防火戸の指定  
・ 適用する 適用箇所 ( 建具表による )  
・ 適用しない

防火戸の自動閉鎖機構及びヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動  
・ 連動させる ( 建具表による )  
・ 連動させない

3 見本の製作等 [5.1.5]

建具見本の製作 ・ する ・ しない  
仮組の実施 ・ する ・ しない

4 防犯建物部品 [5.1.7]

・ 適用する ( )  
適用箇所 ( 建具表による )  
・ 適用しない

5 7/8部分張替え [5.2.2~5][表5.2.1.2]

性能等級 [5.2.2~5][表5.2.1.2]

・ 外部に面する建具  
・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による )

○ 上記によらない場合  
耐風圧性の等級 ( S-5 )  
気密性の等級 ( A-4 )  
水密性の等級 ( H-5 )  
( 建具符号 ・ 建具表による )

防音D7、防音R7  
・ 適用する 遮音性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

断熱D7、断熱R7 [6]  
・ 適用する 断熱性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

耐震D7  
・ 適用する 面内変形追随性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

枠の見込み寸法 ○ 建具表による

表面処理の種類  
外部に面する建具 ○ 樹脂酸化塗装被膜  
種類 ・ BB-1種  
着色 ○ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )  
内部に使用する建具  
種類 ・ BC-1種  
着色 ・ 標準色 ( ) ・ 特注色 ( )

スチール板 ・ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

スチール製くつずりの仕上げ ・ HL

結露水の処理方法 ・ 図示

水切り板、ぜん板 ・ 図示

6 網戸等

種類	仕様	線径	網目
・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ 樹脂製入り合成樹脂製 ・ スチール(SUS316)製	※ 0.25mm以上	※ 16~18mm
・ 防鳥網	スチール(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm

7 樹脂製建具 [5.3.2~5][表5.3.1~2]

性能等級 [5.3.2~5][表5.3.1~2]

・ 外部に面する建具  
・ A種 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ B種 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ C種 ( 建具符号 ・ 建具表による )

・ 上記によらない場合  
耐風圧性の等級 ( )  
気密性の等級 ( )  
水密性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )

防音D7、防音R7  
・ 適用する 遮音性の等級 ( ・ T-1 ・ T-2 )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

断熱D7、断熱R7 [6]  
・ 適用する 断熱性の等級 ( ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

ガラス ※ 複層ガラス ・ 単板ガラス ・ 中空ガラス ・ 建具表による

スチール製くつずりの仕上げ ・ HL

枠の見込み寸法 ・ 建具表による

表面色 ※ 標準色 ・ 特注色

水切り板、ぜん板 ※ 図示

性能等級 [5.2.2][5.4.2~5][表5.4.2]

耐震D7、防音R7  
・ 適用する ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

外部に面する建具の耐風圧性  
・ S-4 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ S-5 ( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ S-6 ( 建具符号 ・ 建具表による )

防音D7、防音R7  
・ 適用する 遮音性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

断熱D7、断熱R7 [6]  
・ 適用する 断熱性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

耐震D7  
・ 適用する 面内変形追随性の等級 ( )  
( 建具符号 ・ 建具表による )  
・ 適用しない

スチール板 ・ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

点検口の廻りくつずりの材料

網板の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.21による  
mm

スチール製くつずりの仕上げ ・ HL

標準型樹脂製建具の形状及び寸法  
・ 建具表による

4-4 外装改修工事 塗り仕上げ

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 [4.5.4][表4.5.4~7]

工法	処理範囲	下地処理	加圧力
・ ヤグ-工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	-
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	・ 30~100Mpa程度 ・ 100~250Mpa程度
・ 塗膜はく離剤工法	※ 既存仕上面全体 ・ 図示	・ 行う	-
○ 水洗い工法	※ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・ 図示	○ 行う	○ 10~20Mpa程度

※ 下地調整塗材 ( ○ C-1 ・ C-2 ・ CII-2 )  
・ 4/8部分張替え  
・ 防水形仕上げ塗材主材

設計変更年月日

1回	年	月	日
2回	年	月	日
3回	年	月	日

工事名 神埼小学校屋根・外壁改修工事

設計図 NOSCALE

図面名 特記仕様書(建築改修)その4

設計 2026年 3月 日

共通事項

神埼小学校屋根・外壁改修工事

設計図 NOSCALE

図面名 特記仕様書(建築改修)その4

設計 2026年 3月 日

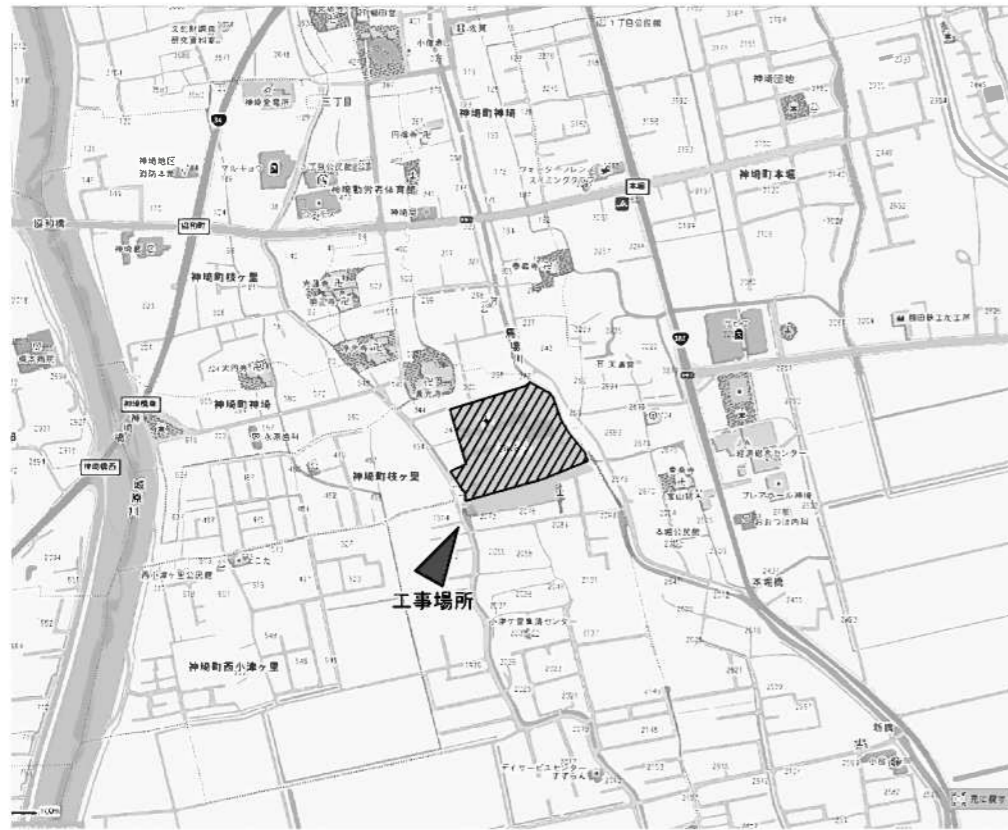
神崎市教育委員会

福島安信建築設計工房

〒842-0002  
佐賀県神埼市神埼利用通り2725-11  
TEL 0952-53-5994 FAX 0952-52-8305

5/A





付近見取図 NOSCALE

<本工事仮設計画 凡例>

: 工事部分  
 : 外部足場  
 : 仮囲いを示す単管パイプ H2.0+養生シート張り (40m) 6カ月  
 : 加圧ゲート W6.0×H1.8 6カ月  
 : 交通誘導員B (延べ30人)  
 : 工事用主動線  
 : 施設用主動線

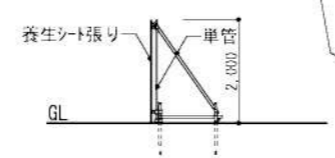
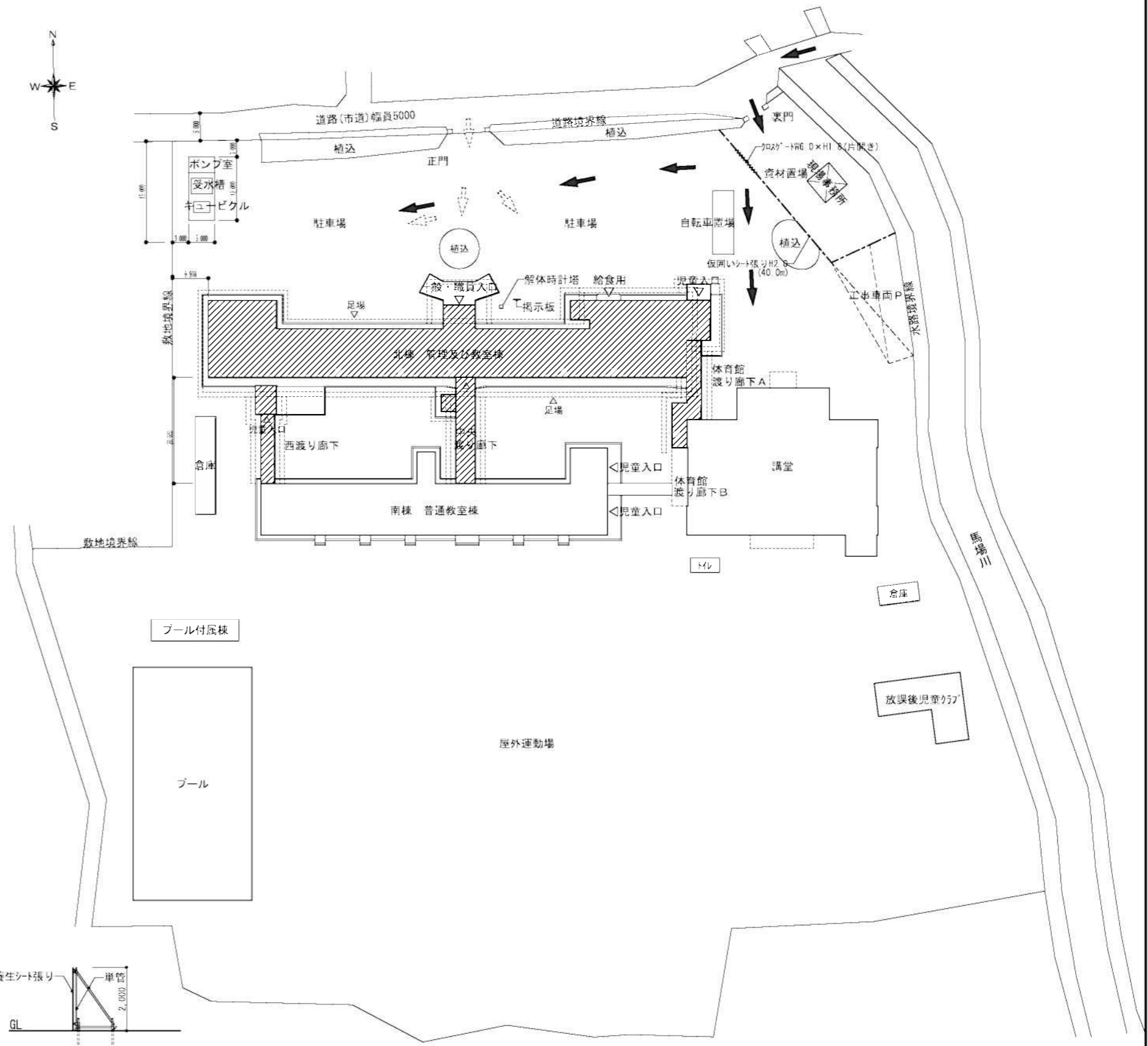
※学校用動線と工事車両動線が交差する箇所には学校側と定期的に協議の上必要箇所に誘導員を配置すること  
 ※現場事務所及び工事車両駐車スペースは学校側と協議の上決定すること

■ 施工条件

本工事は学校敷地内の既存の施設を対象とした改修工事であり、施設を使用しながらの工事である。よって、学校運営に支障を与えないよう、以下に配慮して工事を行うこと。

■ 共通事項

- ・生徒の登下校時においては、できる限り工事材料の搬出入は避け、安全を確保すること。
- ・進入路は幅員が狭いため通行の際は細心の注意をし、敷地内は徐行運転をすること。
- ・解体等、騒音が発生する作業は、監督員、学校側と協議の上、作業を行うこと。
- ・敷地近隣には住宅があるので、近隣住民に対しては十分に配慮すること。
- ・工事動線、任意仮設の設置については、学校側と協議すること。
- ・工事区画を適切に行い、工事区域内に児童等が立ち入らないよう配慮すること。
- ・重機進入口及び周辺には適切に交通誘導員を配置し、安全には十分配慮すること。



仮囲い S=1/100

配置図・仮設計画図 S=1/600

共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名 神埼小学校屋根・外壁改修工事	設計図	縮尺 S=1/600 NOSCALE	神埼市教育委員会
		2回 年 月 日				
		3回 年 月 日				
	付近見取図・配置図・仮設計画図	設計 2026年 3月 日	設計者 福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL 0952-53-5594 FAX 0952-52-8305	7/A	

外部仕上表 (改修前)				⇒	外部仕上表 (改修後)																										
記号	名称	仕様		記号	仕様		備考																								
RR-1	屋根 1 (歩行部分)	平場: ウレタン塗膜防水通気緩衝工法 (X-1) 立上り: ウレタン塗膜防水密着工法 配管ラック: DP塗り (2級)		RR-1 (歩行部分)	平場: 立上り: ウレタン塗膜防水 密着工法 高圧洗浄 (10~15MPa程度)+ウレタン塗膜防水 密着工法 特定化学物質無配合環境対応1成分形X-2同等メッシュ無し仕様 ウレタン塗膜防水下地 層間プライマー共 PH部-受水槽基礎部D350×L3000×H200塗膜防水塗り廻し (2ヶ所) 配管ラック① 門型300×450、② 300×150 (L-40×40) (2ヶ所、2ヶ所) 下地調整 (RB種)+錆び止め塗料塗り (A種)+DP塗り (2級)																										
RR-2	屋根 2 (非歩行部分)	平場: 立上り: 露出7A77防水 端未押工金物: 7A製 L型15×30 シール共 平場: 立上り: ウレタン塗膜防水密着工法		RR-2 (非歩行部分)	平場: 立上り: ウレタン塗膜防水 密着工法 高圧洗浄 (10~15Mpa)+ウレタン塗膜防水 密着工法 特殊補強マット入り1成分形 露出7A77防水下地 専用プライマー塗布共																										
RR-3	屋根 3 (現況塗膜防水部分) 玄関・昇降口屋根 バルコニー床・庇 屋上基礎類	平場: 立上り: ウレタン塗膜防水密着工法		RR-3 (現況塗膜防水部分) 玄関・昇降口屋根 バルコニー床・庇 屋上基礎類	平場: 立上り: ウレタン塗膜防水 密着工法 高圧洗浄 (10~15Mpa) ウレタン塗膜防水 密着工法 特定化学物質無配合環境対応1成分形X-2同等メッシュ無し仕様																										
RR-4	屋根 4 (渡り廊下屋根)	下地調整 (RB種)+錆止め塗料塗り+SOP塗り (A種) (折板葺部・葺板部共)		RR-4	中央渡り廊下 折板葺部はガルバリウム鋼板 t0.4張り替え																										
KS-1	笠木 (屋上周囲笠木)	コンクリート下地+アクリルゴム系防水型外装仕上塗材 三星ハイロン HY-1		KS-1	7A製笠木 t2.0新設																										
NT-1	軒天	コンクリート下地+外装用薄塗材E吹付		NT-1	高圧水洗浄 (12Mpa)+外装用薄塗材E吹付																										
NT-2	軒天 (中央渡り廊下)	ポット下地+EP塗り (A種)		NT-2	下地調整 (RB種)+EP塗り (B種)																										
PP-1	屋根パナソニック	ウレタン塗膜下地+複層模様仕上塗材RE吹付		PP-1	7A製 t2.0張り シーリング工法 下端 7A製 t2.0曲げ加工品																										
GW-1	外壁	コンクリート下地+既設ウレタン浮き (バルコニー壁・庇部)・欠損・露筋部及びひび割れ改修後+アクリル樹脂系C-2工法 +複層模様仕上塗材RE吹付		GW-1	コンクリート打放し部 ひび割れ改修後+高圧洗浄+劣化塗膜ケレン (サンダー掛)+アクリル樹脂系C-1工法+可とう形改修塗材E (改修工法) ひび割れ補修 0.2mm以上 Uカットシーリング材充填工法																										
GW-2	1階2階庇壁 (バルコニー壁外側)	ウレタン塗膜下地+複層模様仕上塗材RE吹付		GW-2	ウレタン塗膜仕上げ部 劣化部改修 (GW-3)後 剥落防止工法 剥落防止工法 (改修工程) ① アンカー打込み ② 1成分形エポキシ樹脂プライマー塗布 ③ 特殊1成分形ウレタン樹脂1層目塗布 ④ 特殊1成分形ウレタン樹脂2層目塗布 ⑤ 特殊1成分形ウレタン樹脂3層目塗布 (模様) ⑥ 水性アクリルウレタン樹脂系トップコート塗布																										
GW-3	外壁 (バルコニー壁内側)	ウレタン塗膜下地+高圧水洗浄 (12Mpa)+複層模様仕上塗材RE吹付		GW-3	ウレタン塗膜仕上げ部 既設モルタル浮き・欠損・露筋部及びひび割れ改修後+高圧水洗浄+劣化塗膜ケレン (サンダー掛)+アクリル樹脂系C-1工法+可とう改修塗材E 浮き部一部補修0.25m未満 注入口付アンカーベジコング部分エポキシ樹脂注入工法 (t>16本/m) 浮き部一部補修0.25m以上 注入口付アンカーベジコング全面エポキシ樹脂注入工法 (t>13本/m) 欠損部 はつり撤去+ポリマーセメントモルタル充填工法 露筋部 ケレン・防錆処理 エポキシ樹脂モルタル充填工法 ひび割れ補修 0.2mm以上 Uカットシーリング材充填工法																										
GW-4	外壁 (中央渡り廊下)	鉄骨鋼縁下地+大波スレート+外装用薄塗材E		GW-4	波型スレート下地+高圧洗浄 (10~15Mpa)+外装用薄塗材E 波型スレートジョイント部 既設シーリング材撤去+シーリング変成シリコン2成分系15×10 既設シーリング材撤去+シーリング変成シリコン2成分系15×10 (庇立上り・バルコニー立上り・壁取合い部)																										
WB-1	建具廻り他 取合シーリング	既設シーリング材撤去+シーリング変成シリコン2成分系		WB-1	既設シーリング材撤去+シーリング変成シリコン2成分系15×10 (庇立上り・バルコニー立上り・壁取合い部)																										
T-1	縦樋	既存ケレン清掃の上EP塗り 養生管 SOP (B種) 塗		T-1	既存ケレン清掃の上DP塗り 養生管ケレン下地調整 (RB種)+錆止め塗料塗り (A種)+DP塗り (2級)																										
TD-1	錆鉄製縦型 中継用ドレン	φ100		TD-1	既存ドレン廻り清掃の上 シール塗り																										
WS-1	根廻り	コンクリート下地+複層模様仕上塗材RE吹付		WS-1	高圧水洗浄+可とう改修塗材E																										
P-1	外部露出配管	SOP塗り (A種)		P-1	下地調整 (RB種)+錆止め塗料塗り+DP塗り (2級)																										
S-1	スチールBOX	SOP塗り (A種) 鉄骨柱・梁部すべて		S-1	下地調整 (RB種)+錆止め塗料塗り+DP塗り (2級) 鉄骨柱・梁部・鉄部すべて																										
共通事項				<table border="1"> <tr> <td>設計変更年月日</td> <td>工事名</td> <td>設計図</td> <td>種別</td> <td>NO SCALE</td> <td>神崎市教育委員会</td> </tr> <tr> <td>1回 年 月 日</td> <td>神埼小学校屋根・外壁改修工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2回 年 月 日</td> <td>外部仕上表 (1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3回 年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				設計変更年月日	工事名	設計図	種別	NO SCALE	神崎市教育委員会	1回 年 月 日	神埼小学校屋根・外壁改修工事					2回 年 月 日	外部仕上表 (1)					3回 年 月 日					
設計変更年月日	工事名	設計図	種別	NO SCALE	神崎市教育委員会																										
1回 年 月 日	神埼小学校屋根・外壁改修工事																														
2回 年 月 日	外部仕上表 (1)																														
3回 年 月 日																															



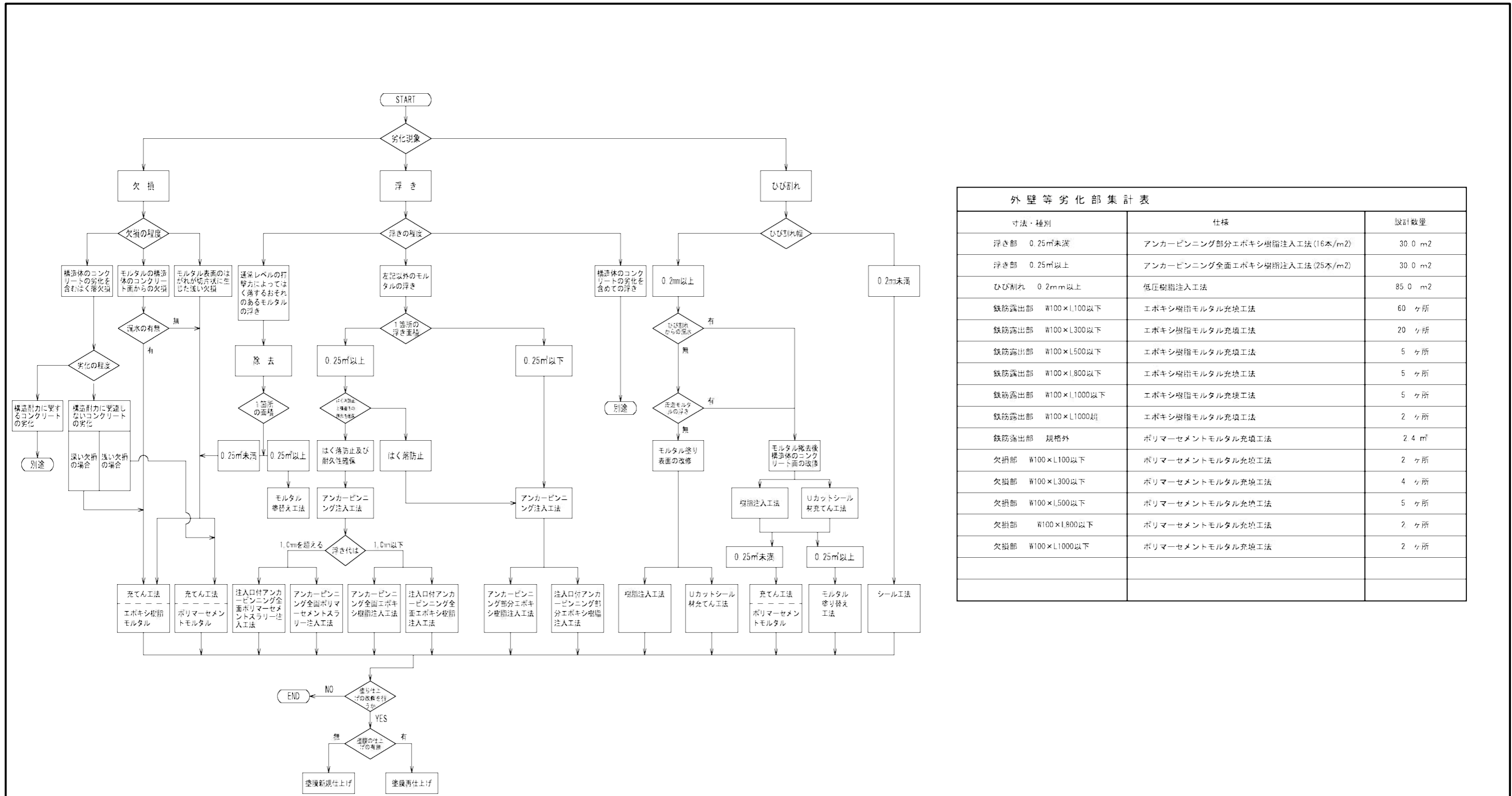
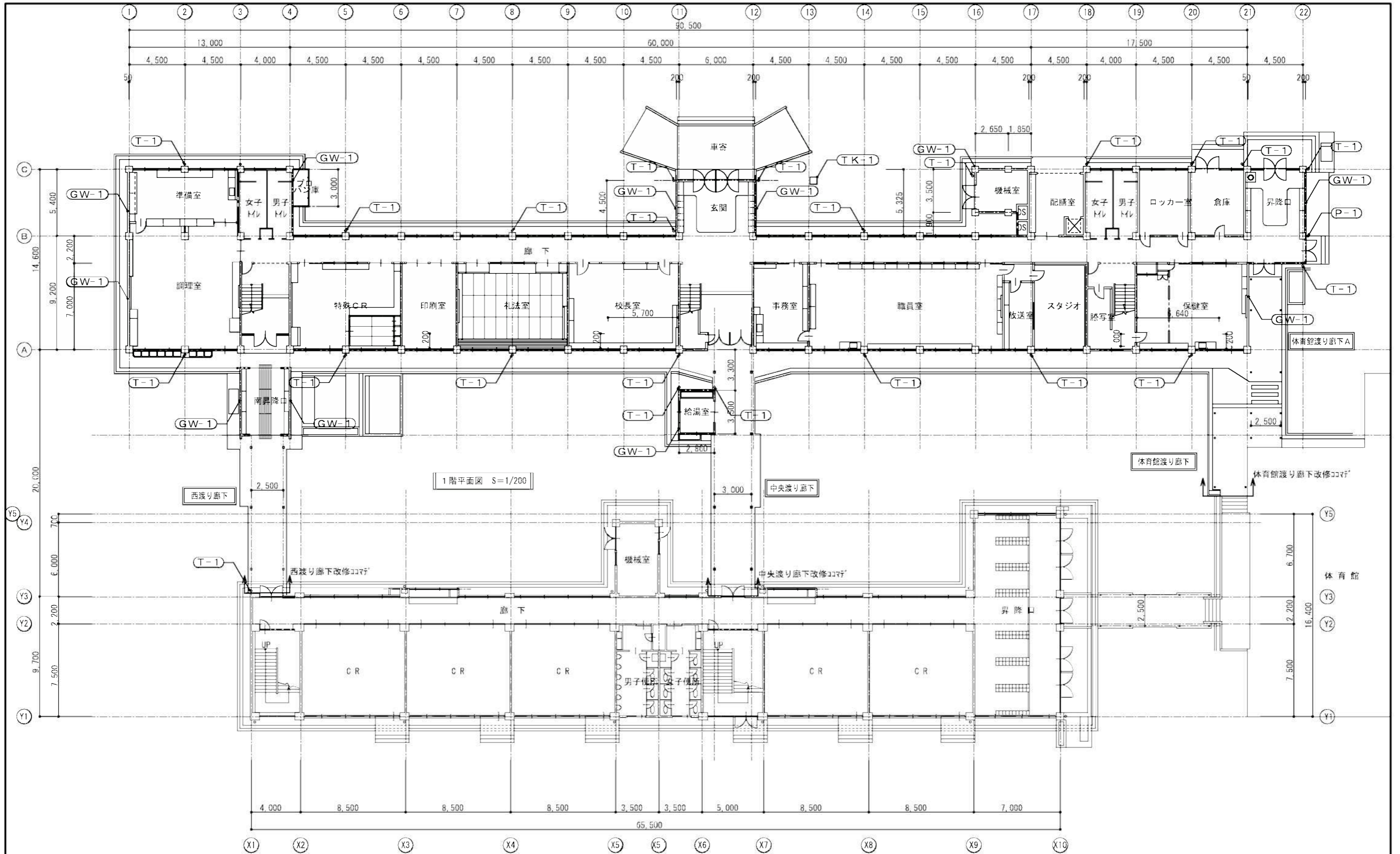


図4.1.6 モルタル塗り仕上げ外壁の改修工法選定フロー

寸法・種別	仕様	設計数量
浮き部 0.25㎡未満	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法(16本/㎡)	30.0 ㎡
浮き部 0.25㎡以上	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法(25本/㎡)	30.0 ㎡
ひび割れ 0.2mm以上	低圧樹脂注入工法	85.0 ㎡
鉄筋露出部 W100×L100以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	60 ヶ所
鉄筋露出部 W100×L300以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	20 ヶ所
鉄筋露出部 W100×L500以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	5 ヶ所
鉄筋露出部 W100×L800以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	5 ヶ所
鉄筋露出部 W100×L1000以下	エポキシ樹脂モルタル充填工法	5 ヶ所
鉄筋露出部 W100×L1000超	エポキシ樹脂モルタル充填工法	2 ヶ所
鉄筋露出部 規格外	ポリマーセメントモルタル充填工法	2.4 ㎡
欠損部 W100×L100以下	ポリマーセメントモルタル充填工法	2 ヶ所
欠損部 W100×L300以下	ポリマーセメントモルタル充填工法	4 ヶ所
欠損部 W100×L500以下	ポリマーセメントモルタル充填工法	5 ヶ所
欠損部 W100×L800以下	ポリマーセメントモルタル充填工法	2 ヶ所
欠損部 W100×L1000以下	ポリマーセメントモルタル充填工法	2 ヶ所

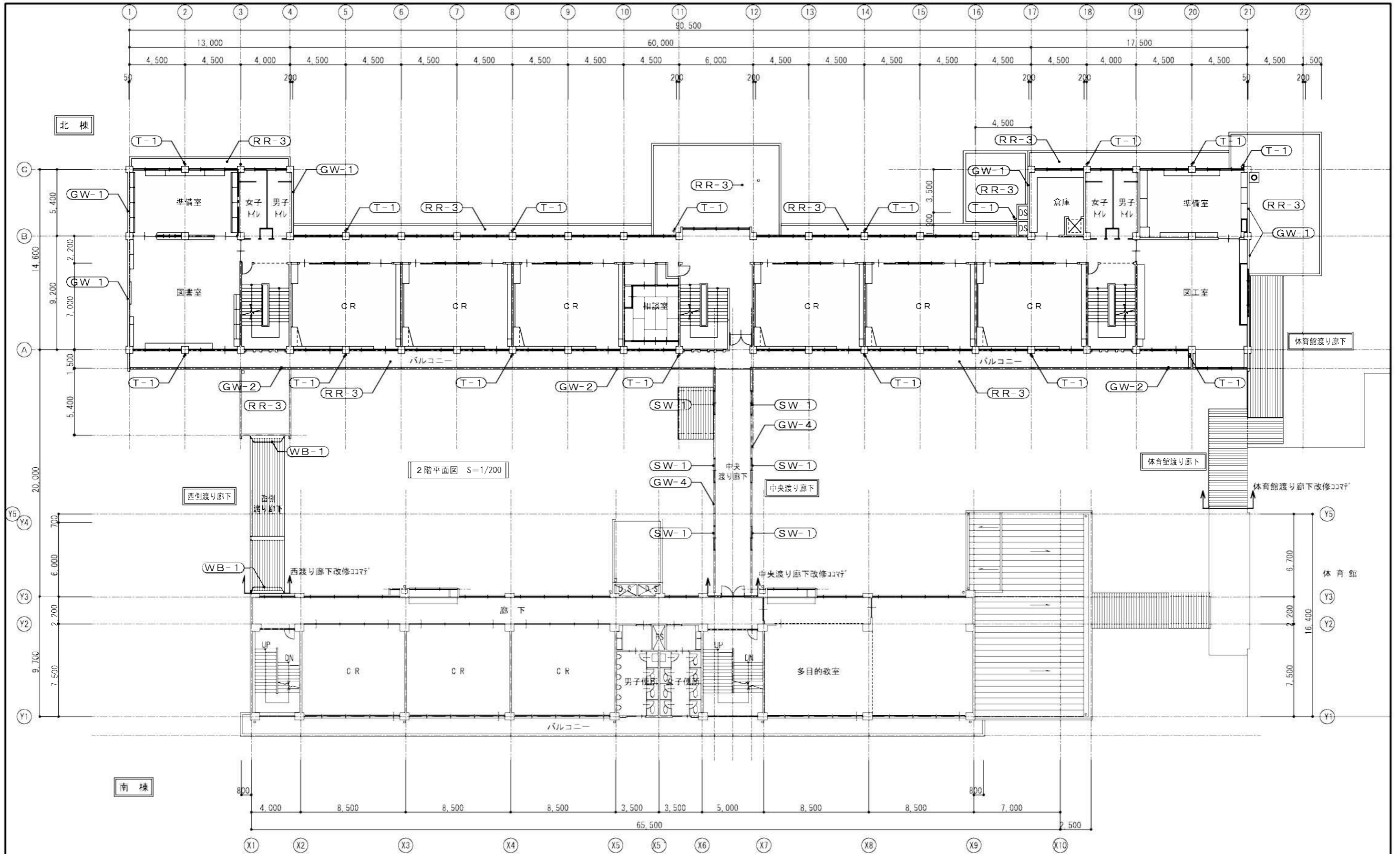


共通事項	設計変更年月日	1回	年	月	日
		2回	年	月	日
		3回	年	月	日

設計	2026年 3月 日
校舎	1階平面図

設計者	神埼小学校屋根・外壁改修工事	設計者	福島安信建築設計工房
設計	1階平面図	設計	2026年 3月 日

縮尺	S=1:200	発注者	神埼市教育委員会
設計	2026年 3月 日	設計者	福島安信建築設計工房
		事務所	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305

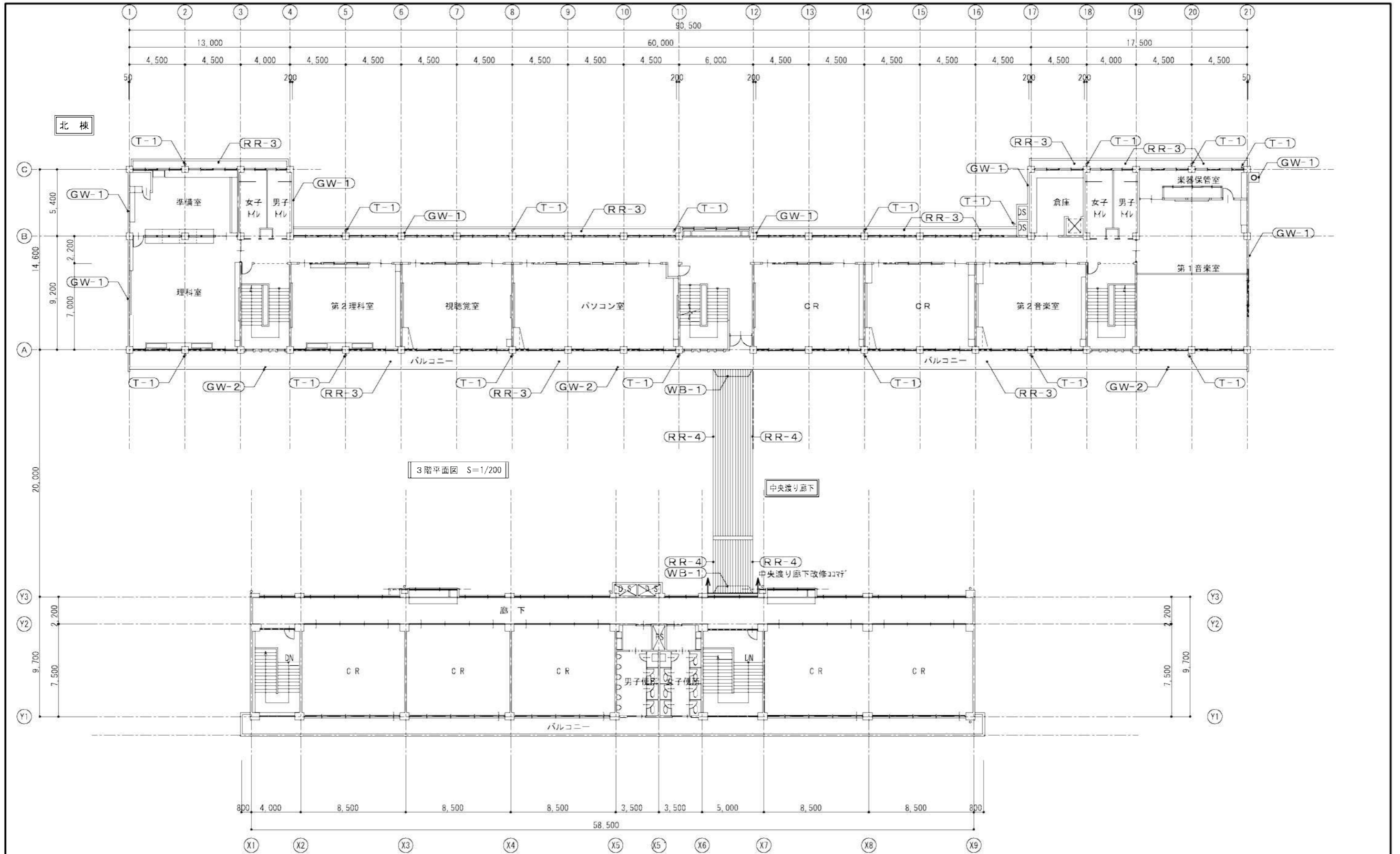


共通事項	設計変更年月日	1回	年	月	日
		2回	年	月	日
		3回	年	月	日

工事名	神崎小学校屋根・外壁改修工事
図面名	2階平面図

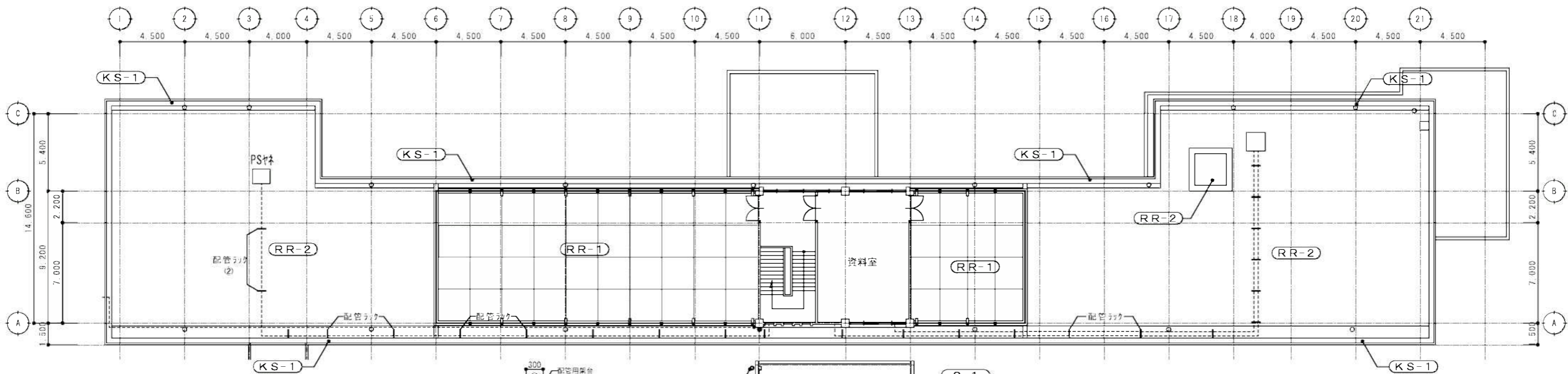
縮尺	S=1:200
設計	2026年 3月 日

神崎市教育委員会 福島安信建築設計工房 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305	12/A
---	------

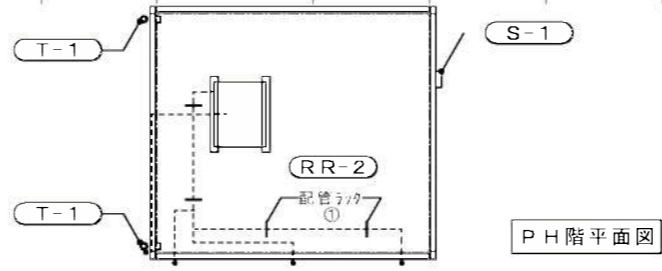


3階平面図 S=1/200

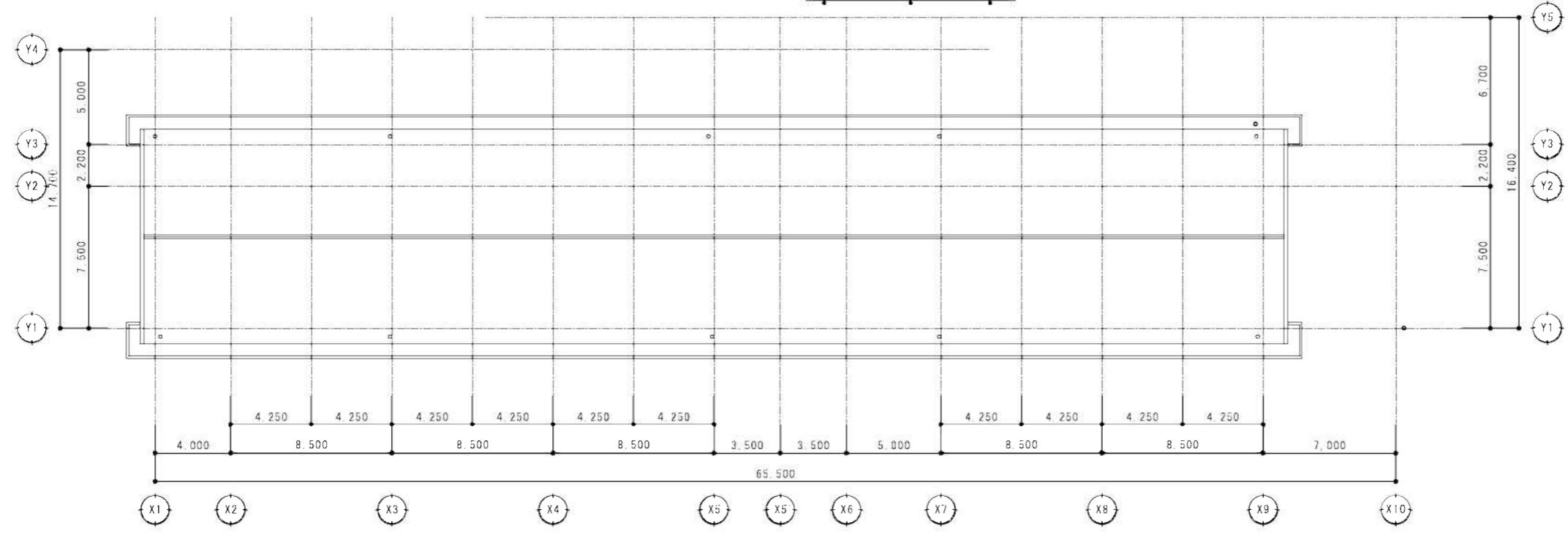
共通事項	設計変更年月日	1回	年	月	日	工事 名称	神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図	概尺 S=1:200	神崎市教育委員会
		2回	年	月	日					
		3回	年	月	日					
						3階平面図	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305	13/A



屋根伏図 S=1/200

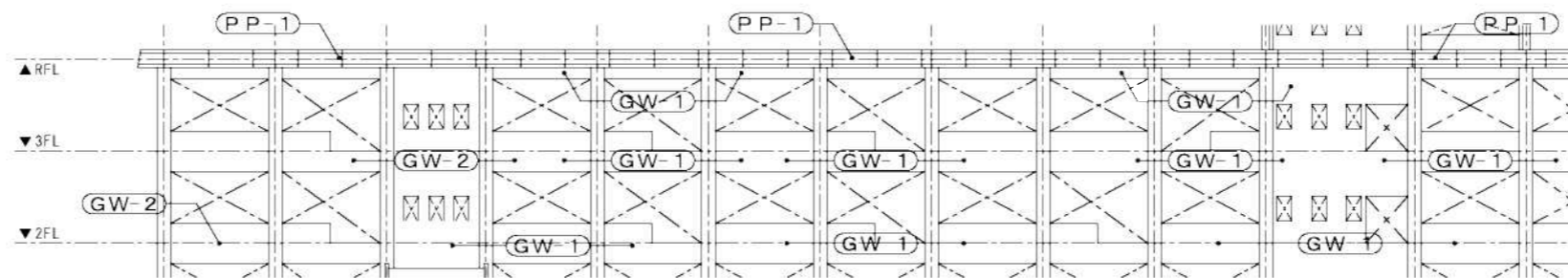


PH階平面図



南棟屋根伏図 S=1:200

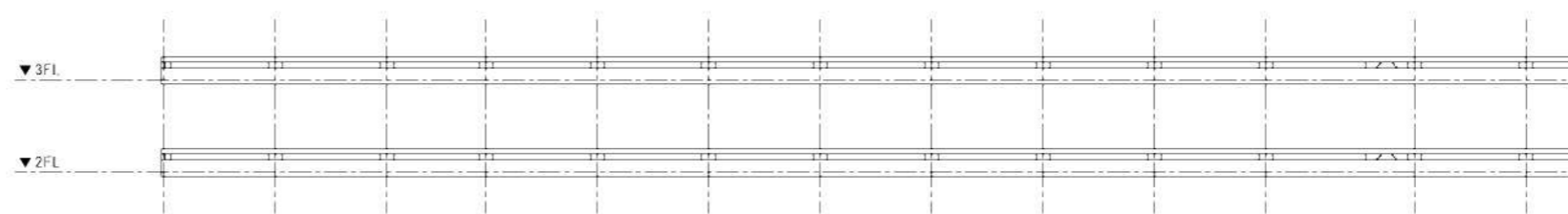
共通事項	設計変更年月日	1回	年	月	日	神埼小学校屋根・外壁改修工事 R階平面図	設計図 設計 2026年 3月 日	縮尺 S=1/200 神埼市教育委員会 福島安信建築設計工房 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊少里225-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305	14/A
		2回	年	月	日				
		3回	年	月	日				



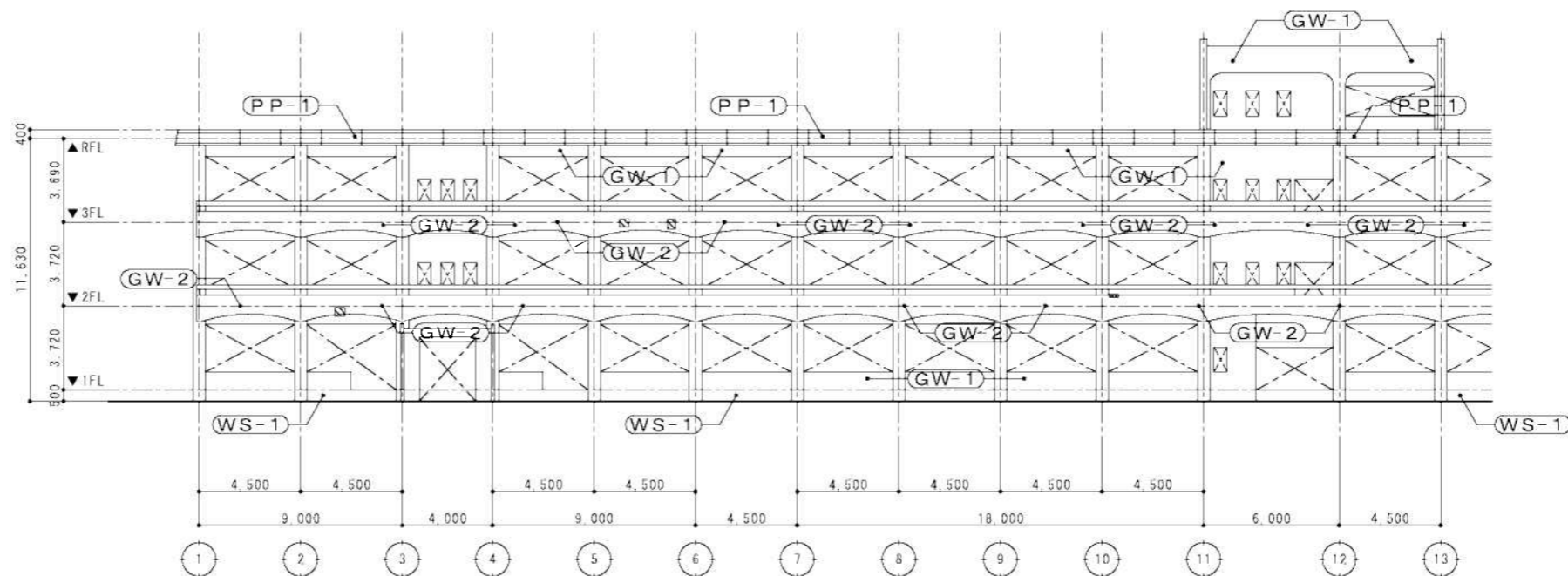
窓下奥壁 S=1:200

凡例

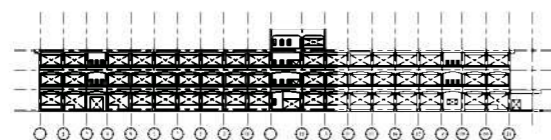
	モルタル浮き部
	鉄筋露出部



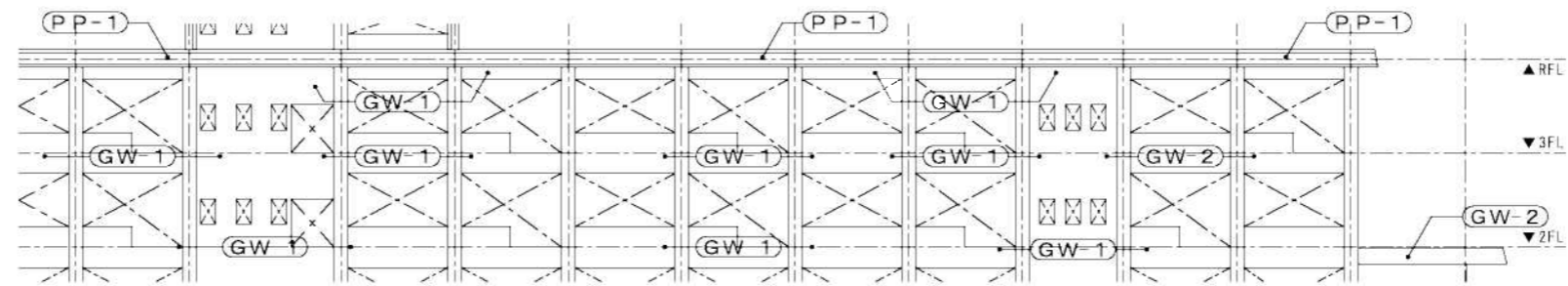
ベランダ内壁 S=1:200



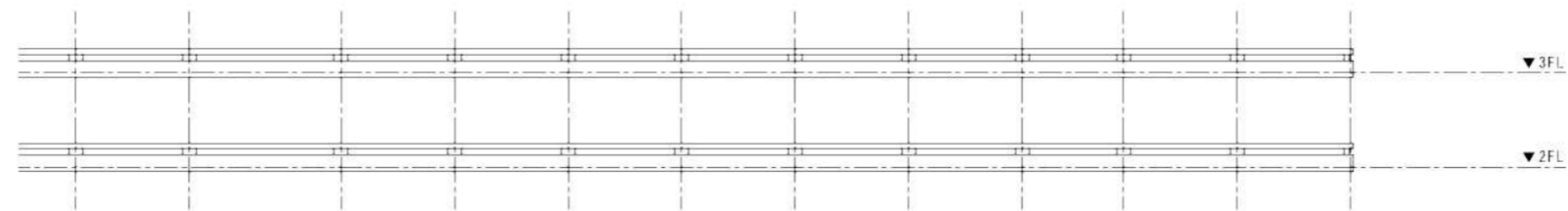
南側立面図(西側) S=1:200



共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図 概尺 S=1:200	神崎市教育委員会
		2回 年 月 日			
		3回 年 月 日			
	立面図名	立面図 2-1 (北棟)	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊少里2225-11 TEL 0952-53-5594 FAX 0952-52-8305



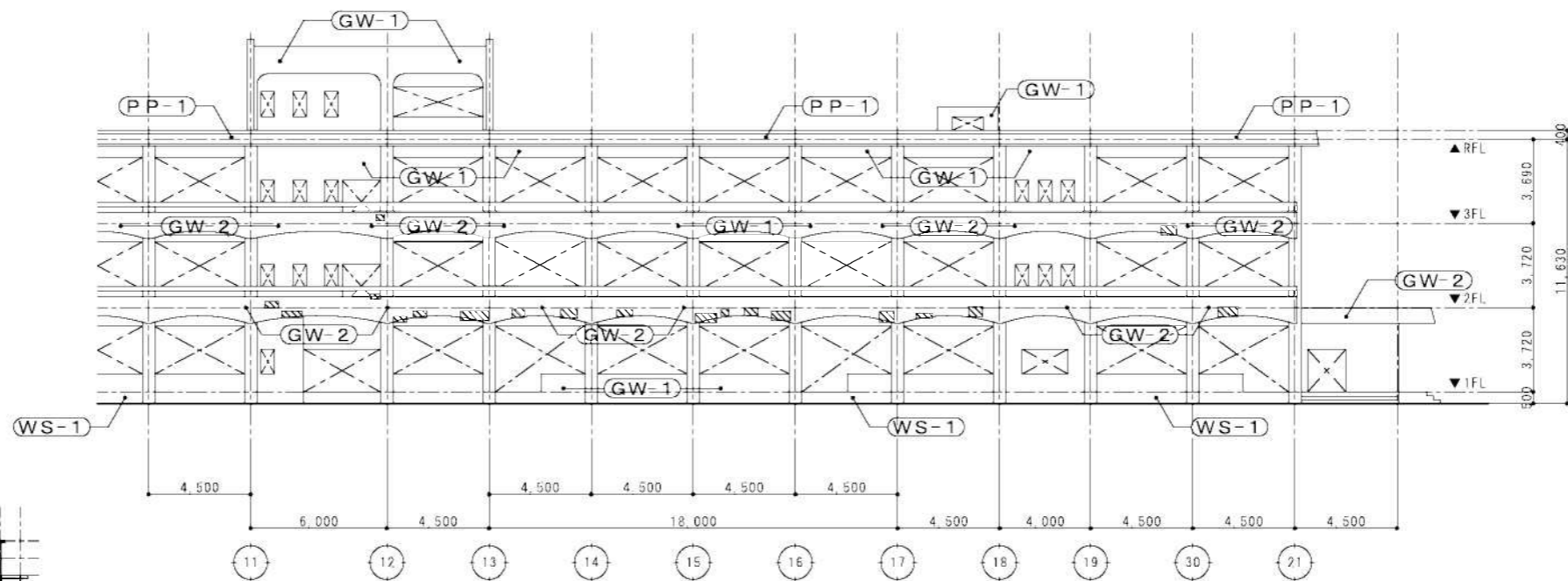
窓下奥壁 S=1/200



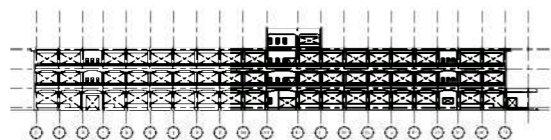
ベランダ内壁 S=1/200

凡例

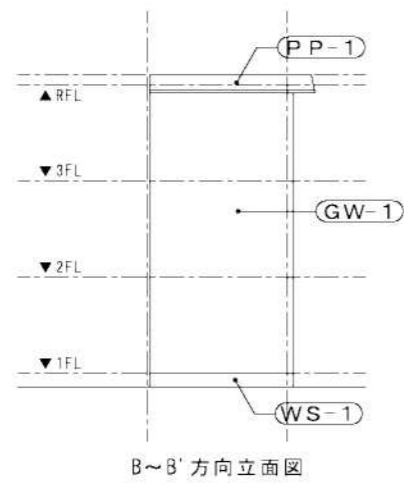
	モルタル浮き部
	鉄筋露出部



南側立面図(東側) S=1/200

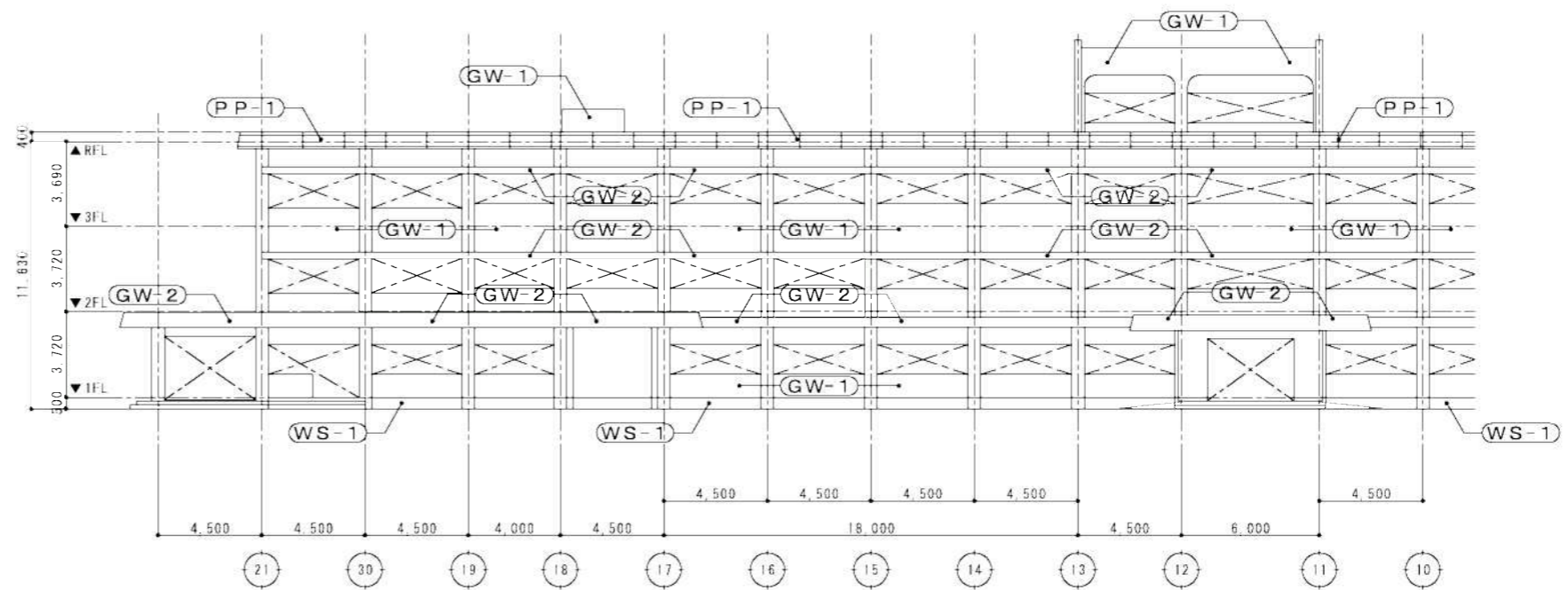
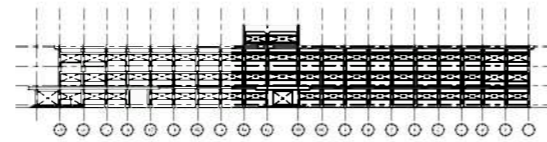
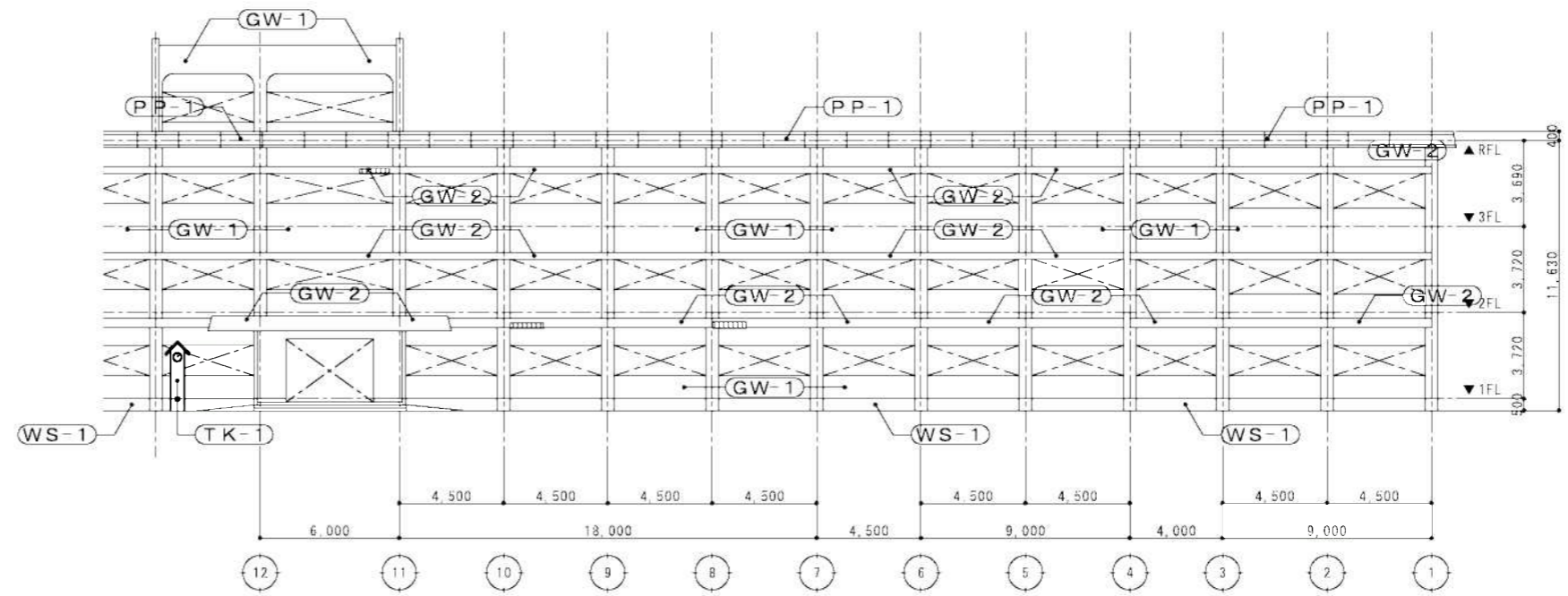
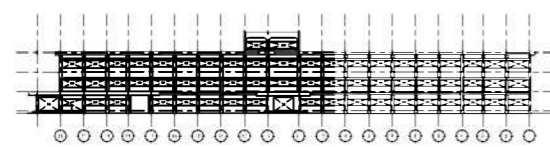
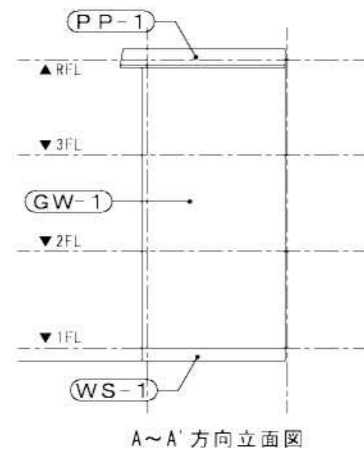


共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図 S=1/200	神崎市教育委員会
		2回 年 月 日			
		3回 年 月 日			
	立面図名	立面図 2-2 (北棟)	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊少里2225-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305

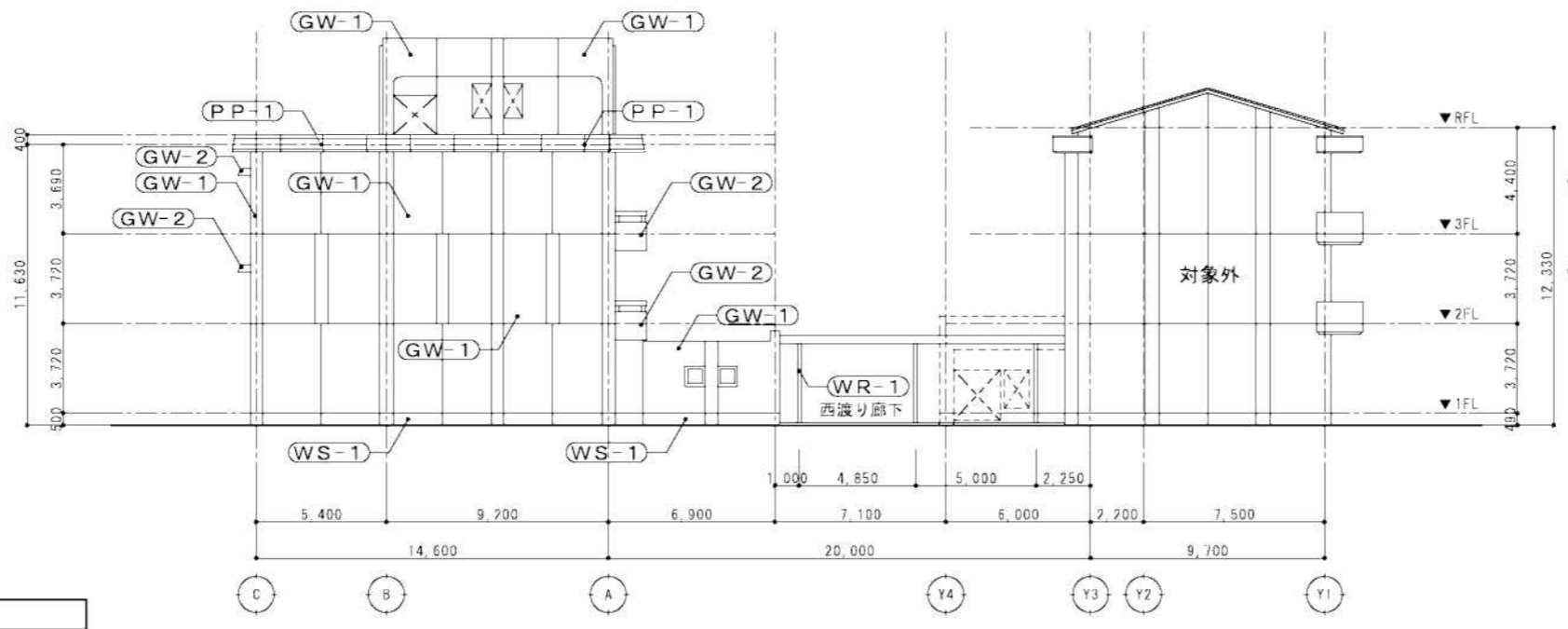


凡例

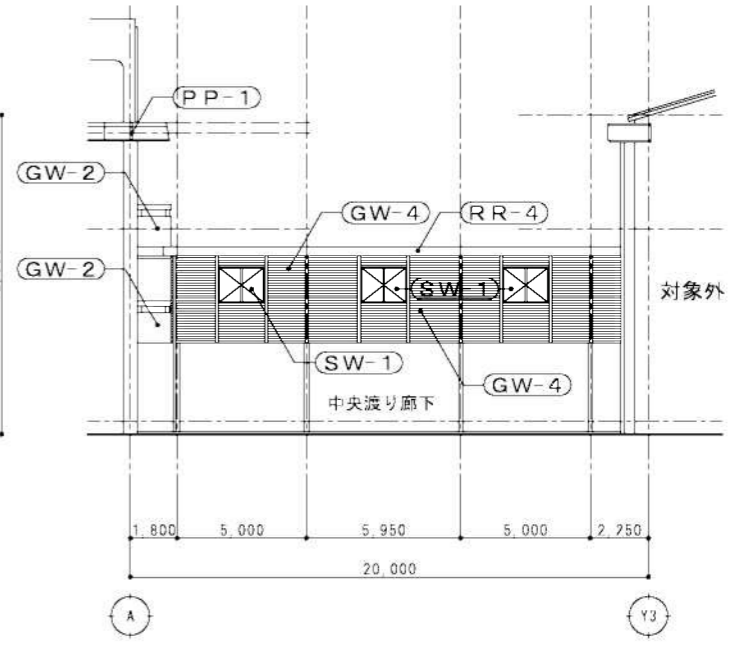
	モルタル浮き部
	鉄筋露出部



共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	立 面 図	神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図	縮尺 S=1/200	神崎市教育委員会
		2回 年 月 日					
		3回 年 月 日					
			立 面 図	立 面 図 3 (北棟)	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305



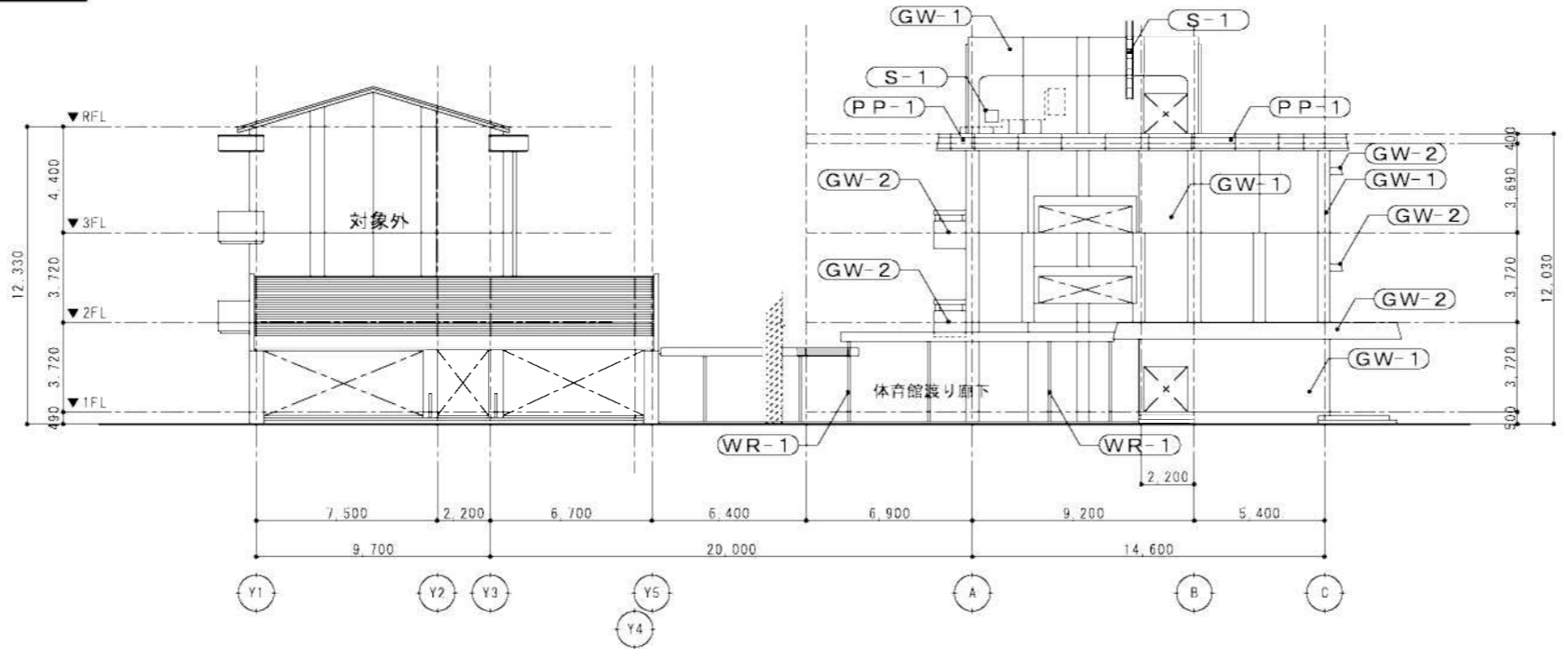
西側立面図 S=1/200



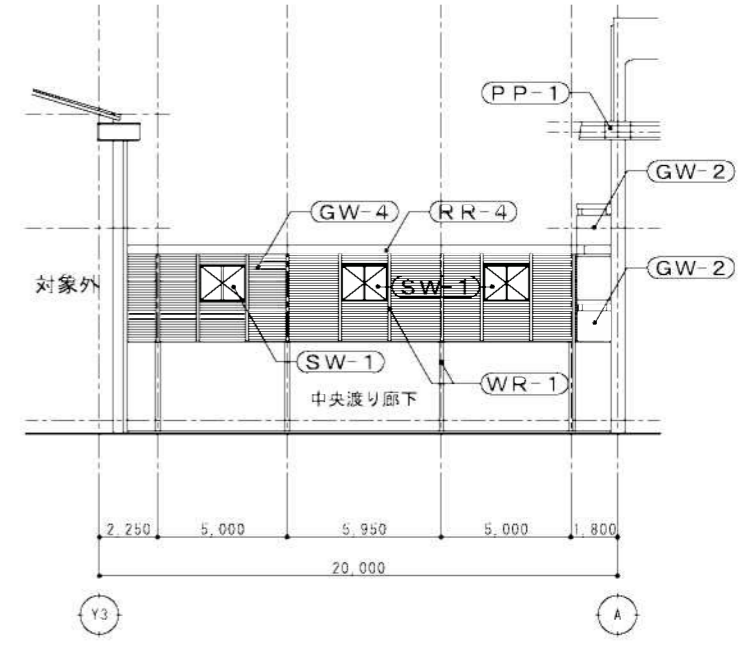
西側立面図 S=1/200

凡例

	モルタル浮き部
	鉄筋露出部

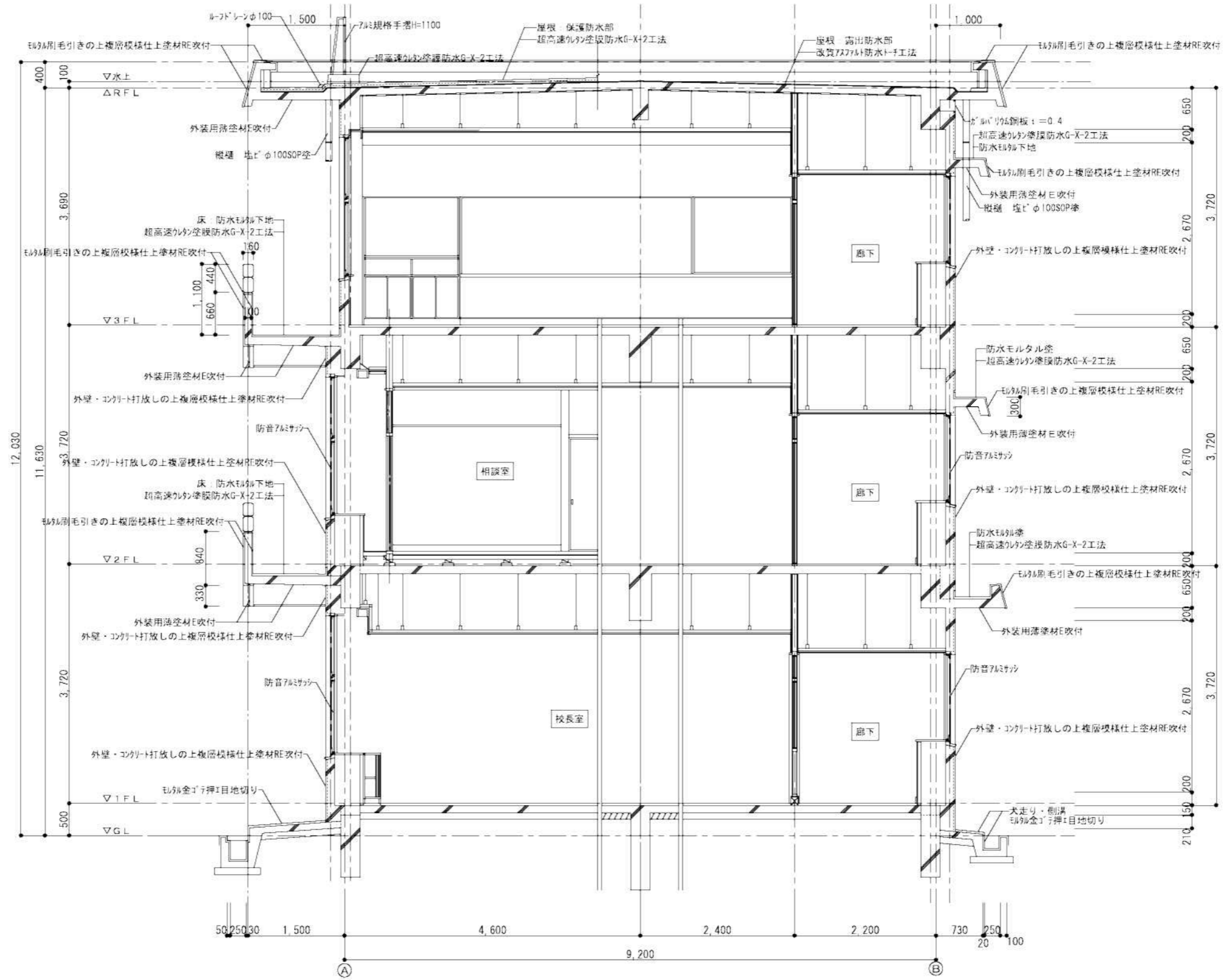


東側立面図 S=1/200



東側立面図 S=1/200

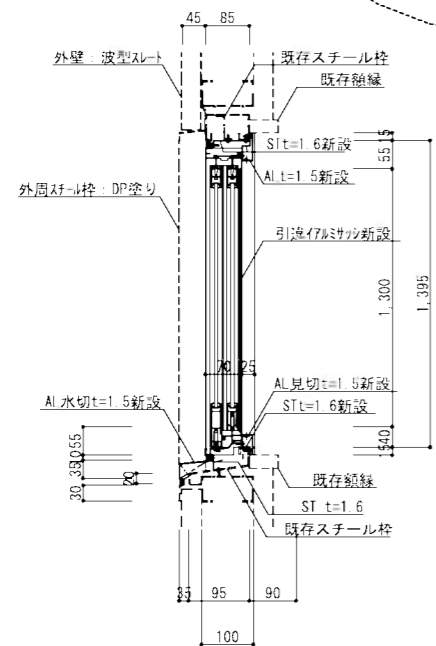
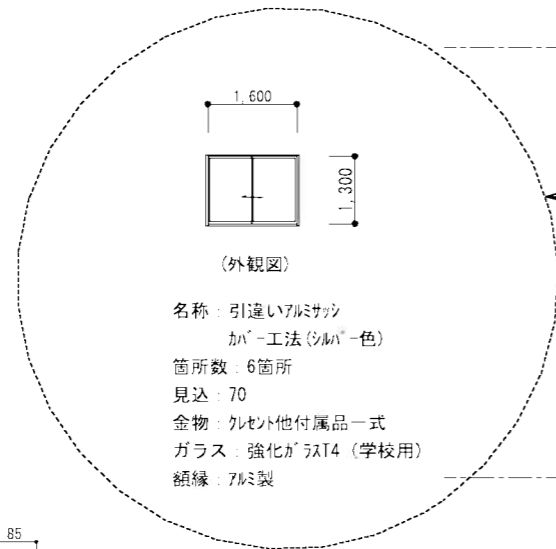
共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図 S=1/200	所 神崎市教育委員会
		2回 年 月 日			
		3回 年 月 日			
			立面図4 (北棟)	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊少里2225-11 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305



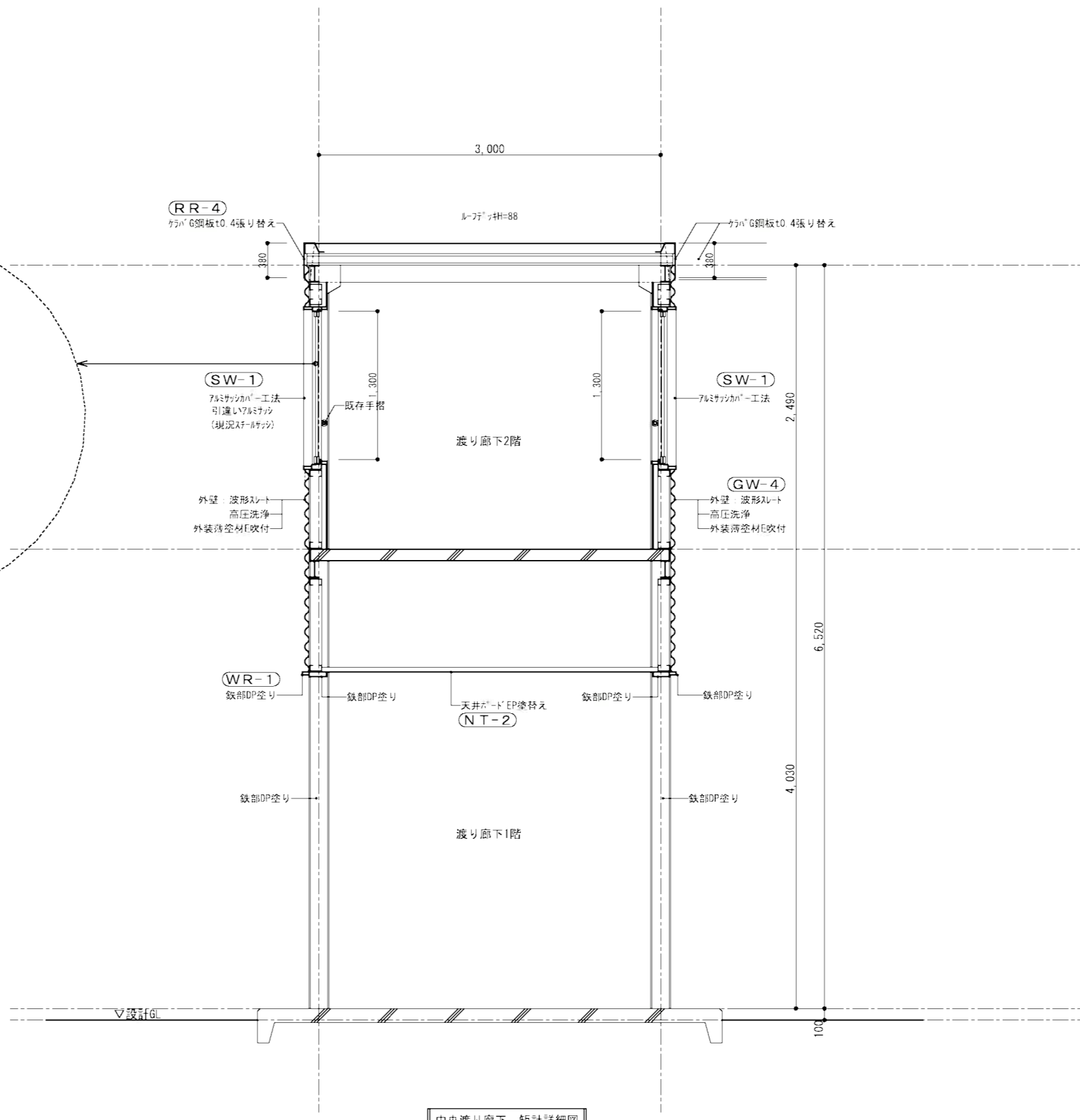
現況設計詳細図(北棟) S=1:50

共通事項	設計変更年月日	1回 年 月 日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図	概尺 S=1/200	神崎市教育委員会
		2回 年 月 日				
		3回 年 月 日				
			現況設計詳細図	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 〒942-0032 福島県神崎市神崎町出雲ヶ里2228-11 TEL 0962-63-5894 FAX 0962-62-8305	19 / A

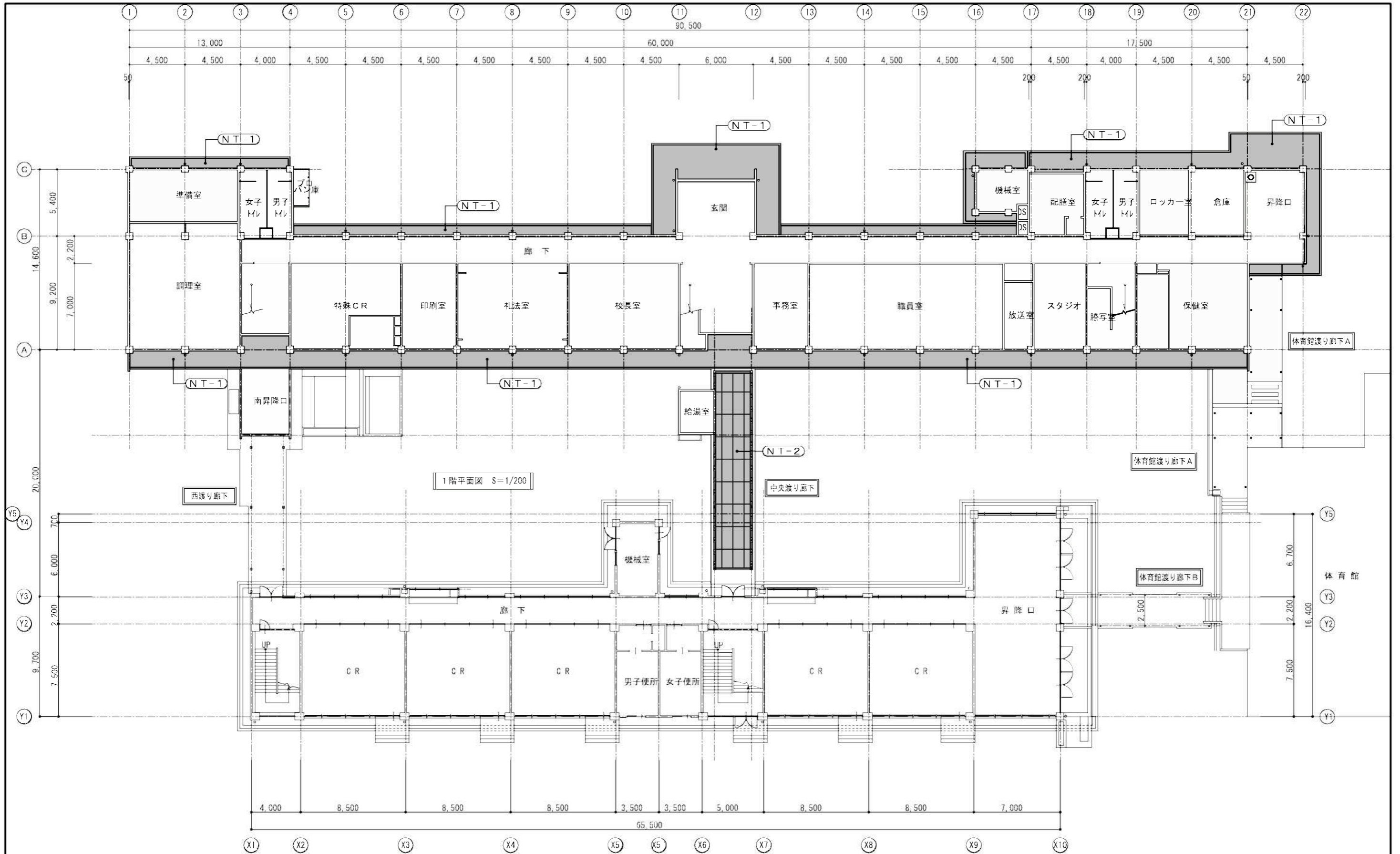




SW-1 改修サッシ廻り詳細図 S=1/10



共通事項	設計変更年月日	工事名	設計図	縮尺	神崎市教育委員会
	1回 年 月 日	神崎小学校屋根・外壁改修工事	S=1/30	2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 〒847-0007 佐賀県神埼市神埼利用道1丁目225-11 TEL 0957-53-5994 FAX 0957-52-8305
	2回 年 月 日	改修中央渡り廊下 矩計詳細図	S=1/50	図面名	
3回 年 月 日				図号	



1階平面図 S=1/200

共通事項	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日

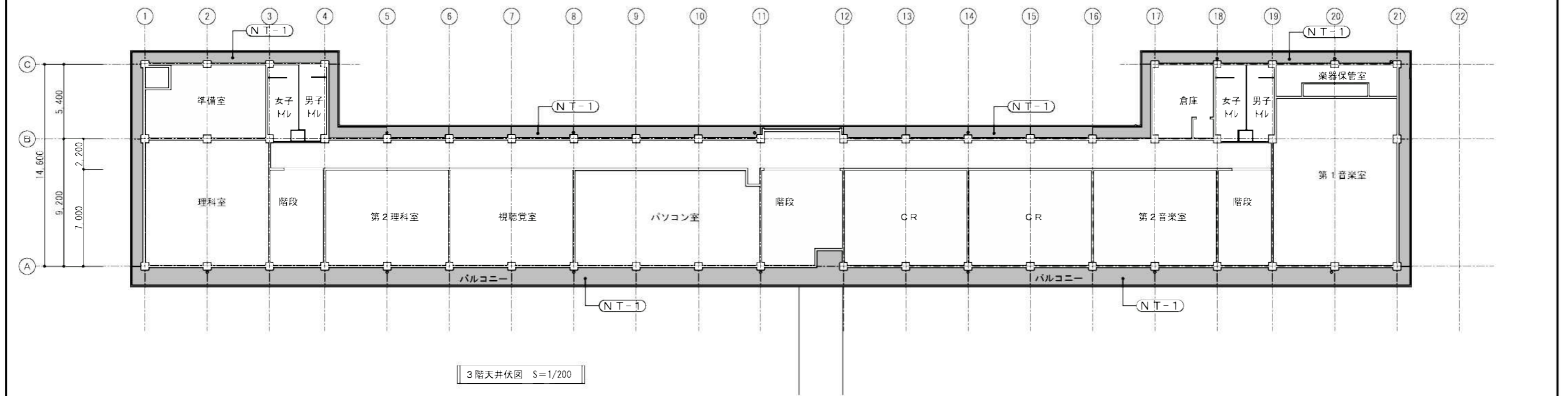
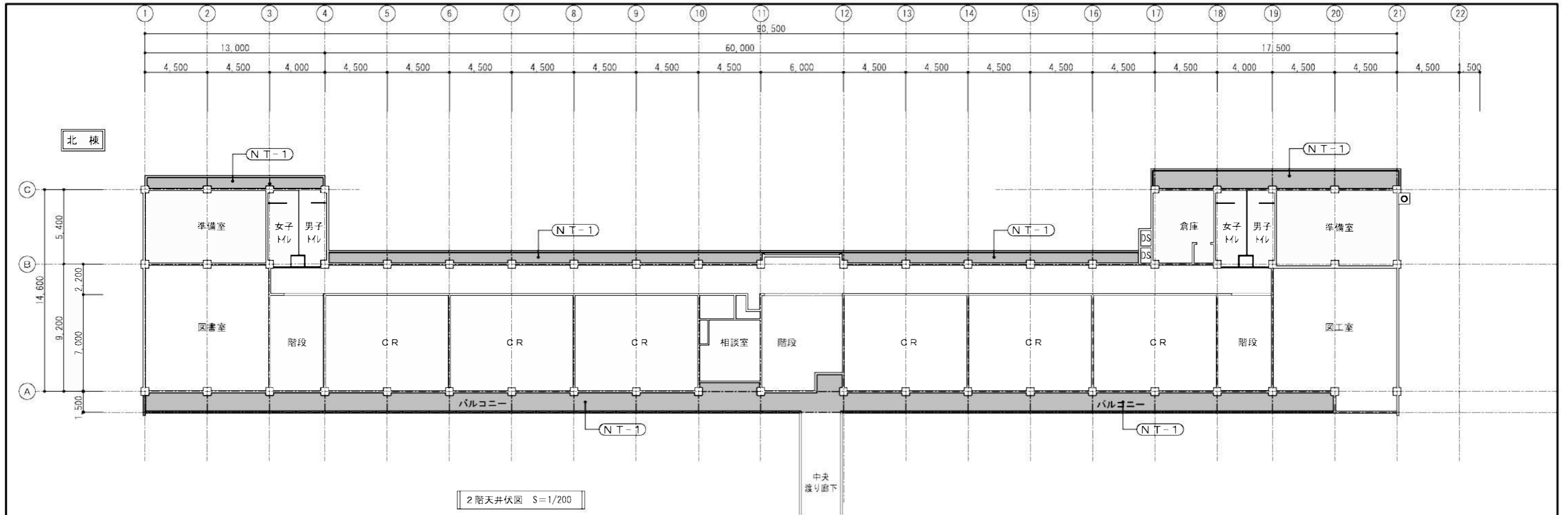
設計変更年月日
1回 年 月 日
2回 年 月 日
3回 年 月 日

工事名	神崎小学校屋根・外壁改修工事
図面名称	1階天井伏図

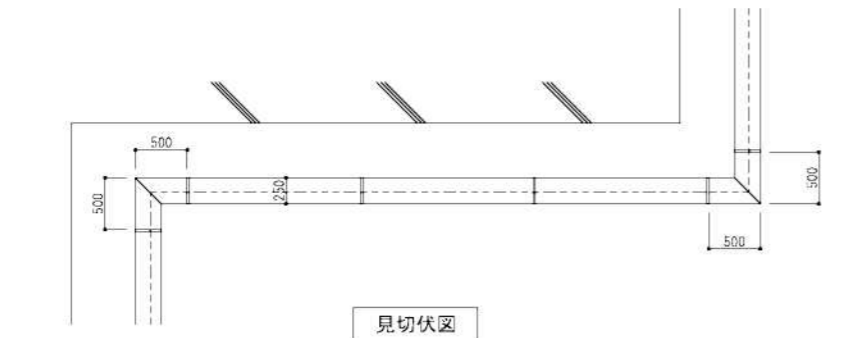
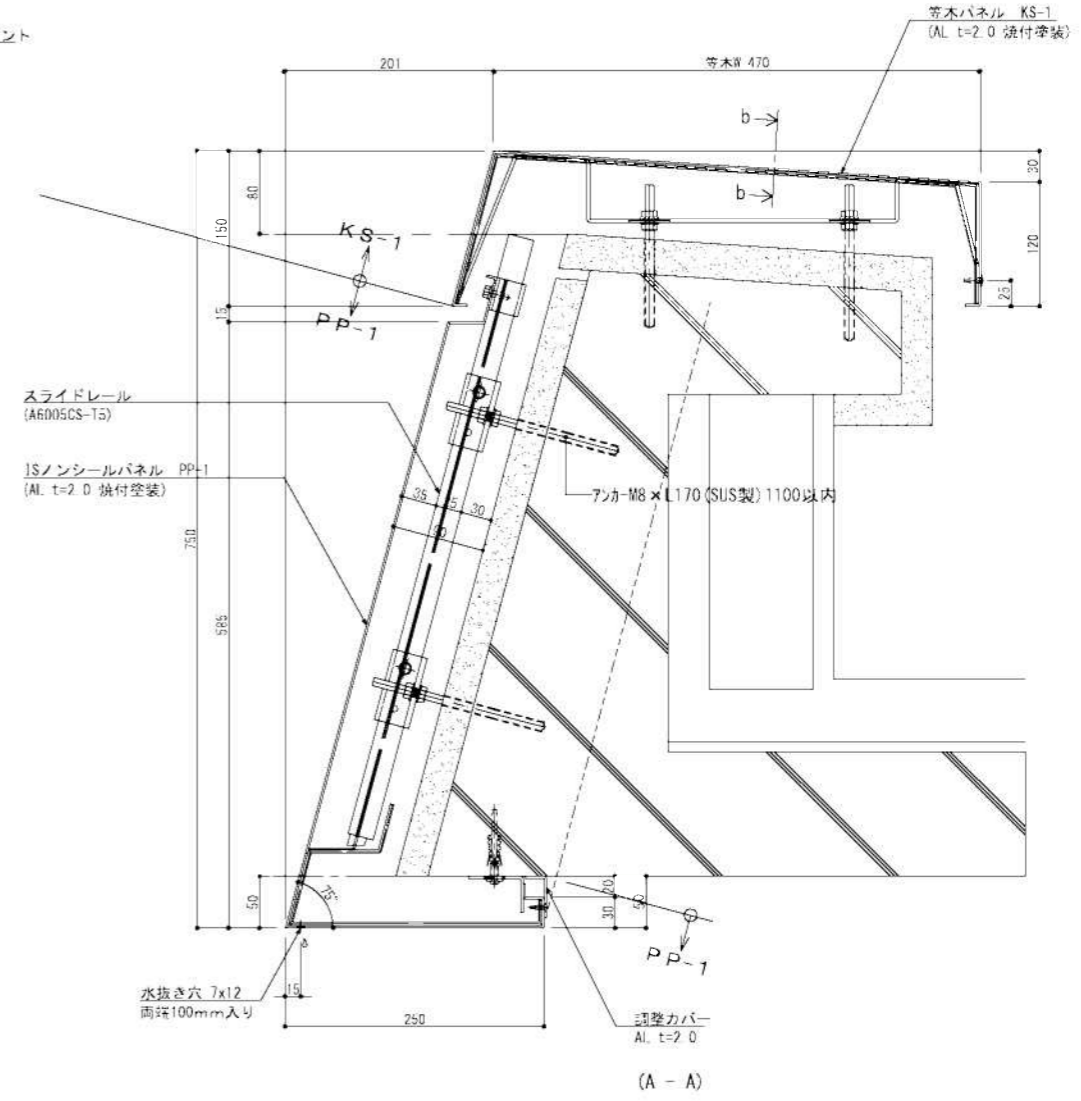
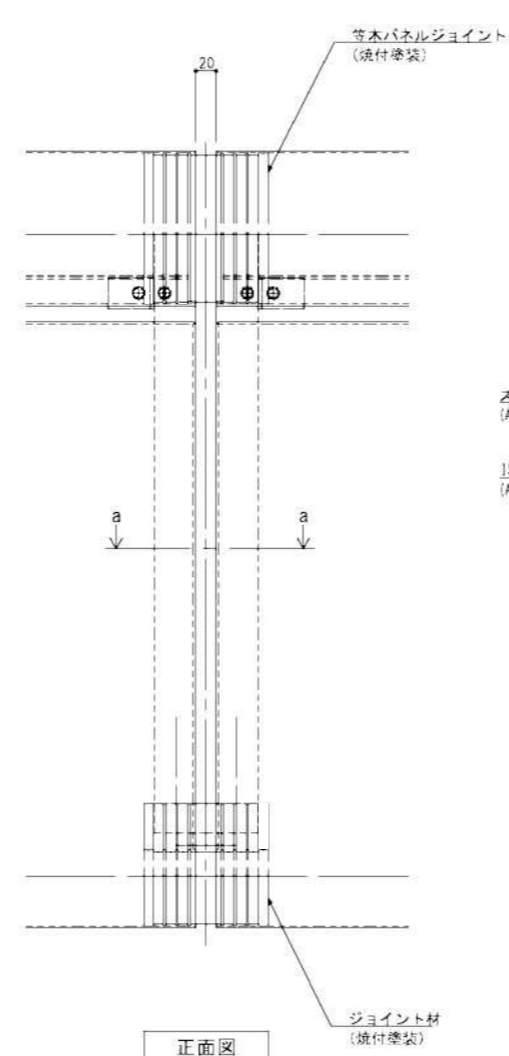
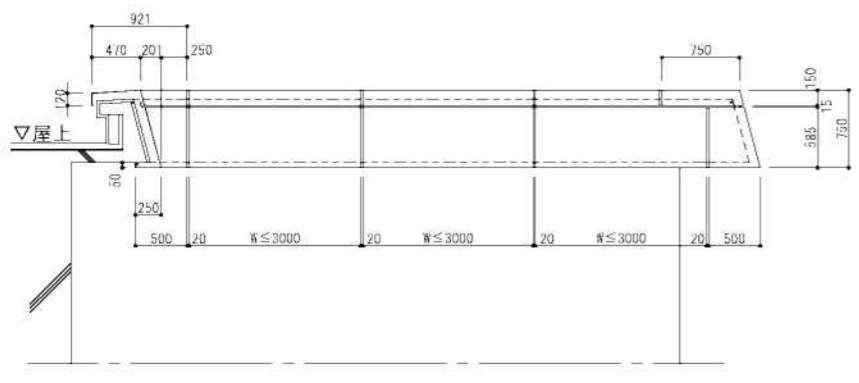
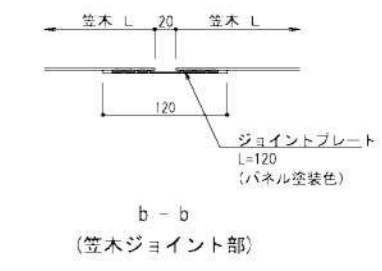
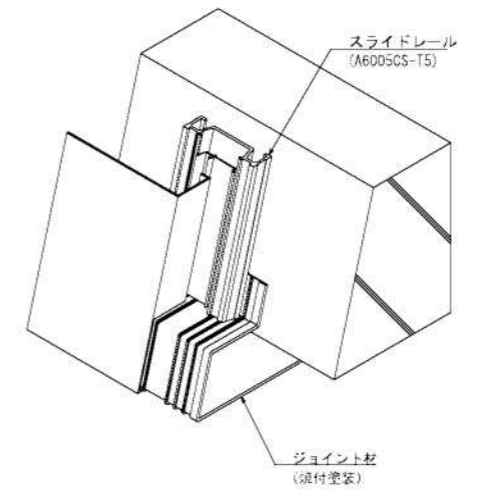
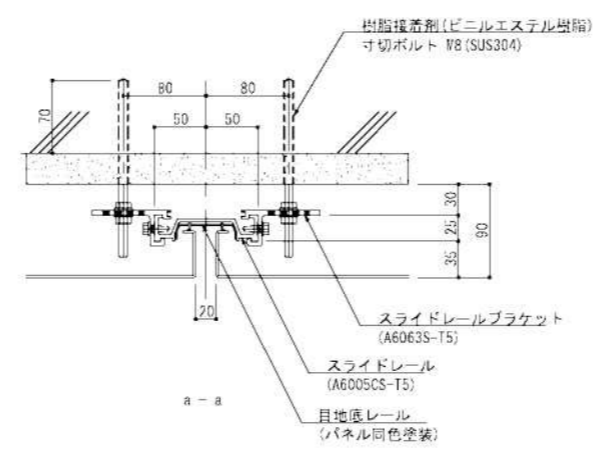
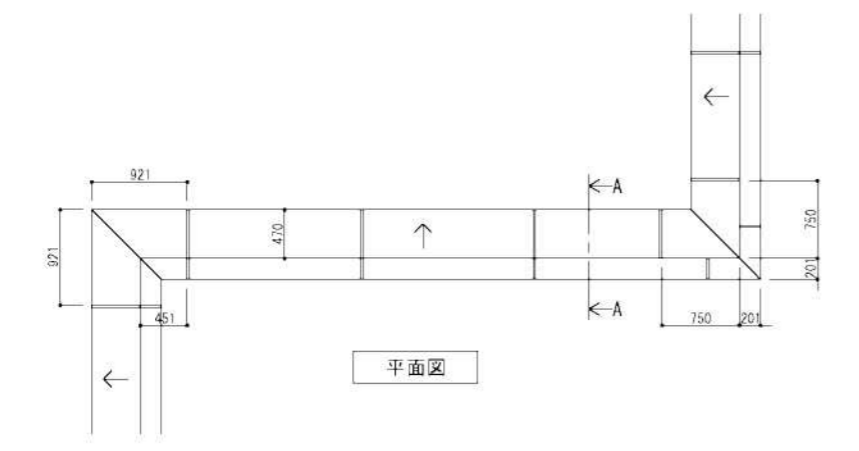
設計者	神崎市教育委員会
設計日	2026年 3月 日

縮尺	S=1:200
----	---------

<b>神崎市教育委員会</b> 福島安信建築設計工房 <small>〒847-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 TEL. 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305</small>
--

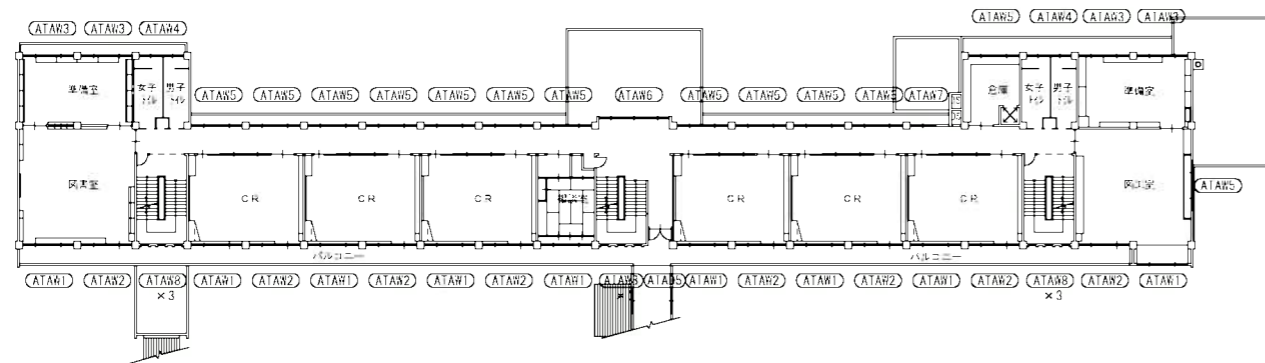


共通事項	設計変更年月日	1回	年	月	日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図	縮尺	神崎市教育委員会		
		2回	年	月	日					設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 〒842-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊5-11 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号 TEL 0962-53-5594 FAX 0962-52-8305
		3回	年	月	日						
						2階、3階天井伏図			23/A		

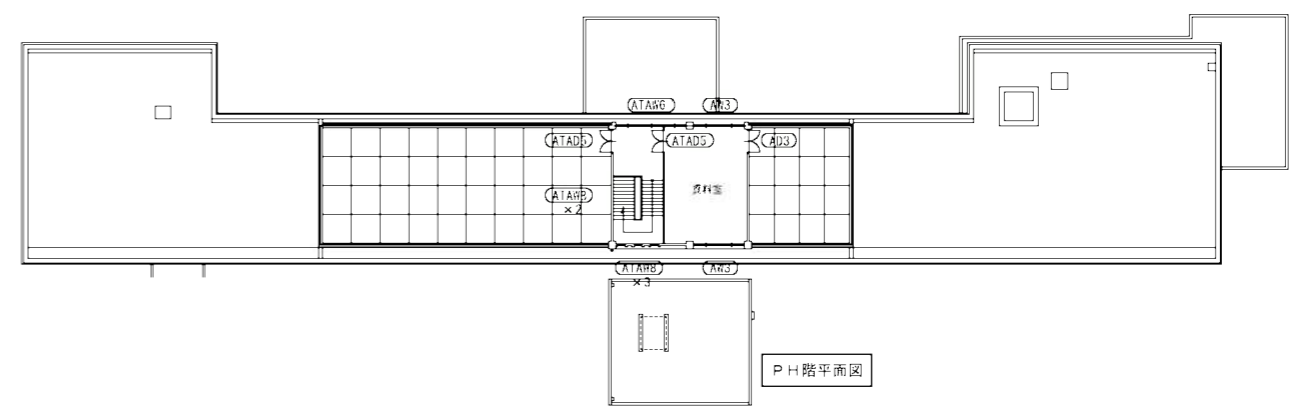


参考図

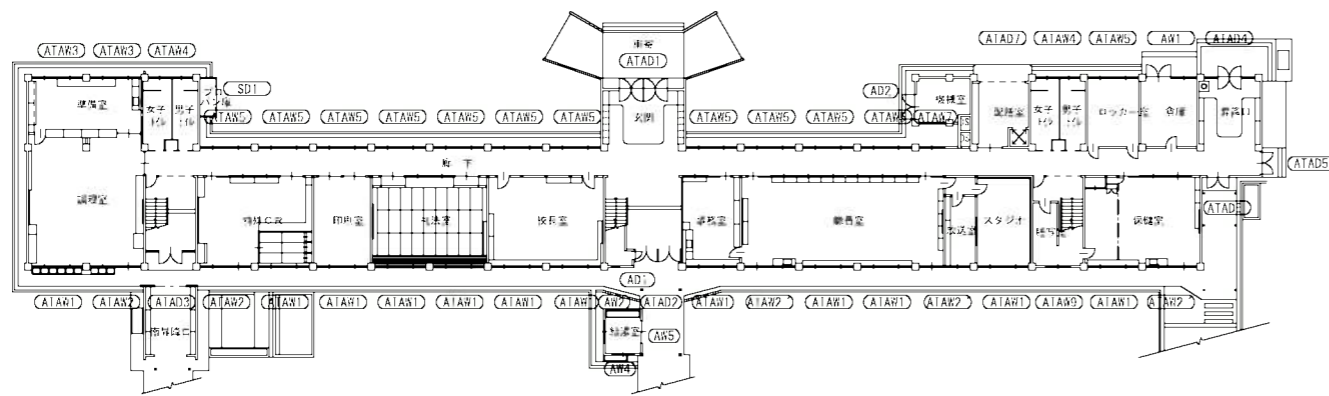
共通事項	井上商事(株) ISノンシールパネル同等品以上とする (RC造外壁改修)	設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事名 神崎小学校屋根・外壁改修工事	設計図 概尺 S=1/5	神崎市教育委員会	24/A
			図説名 パラペットアルミパネル詳細図	設計 2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 〒647-0007 佐賀県神埼市神埼町田邊ヶ原7225-11 TEL. 0952-53-5594 FAX. 0952-52-5305	
					一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	



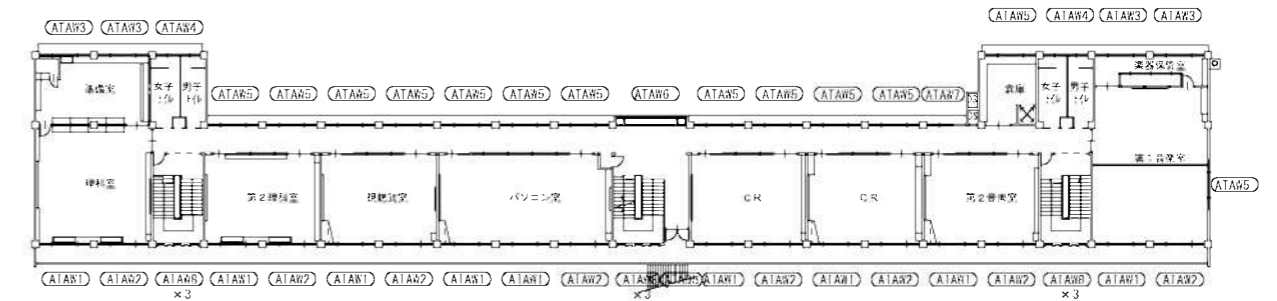
2階建具 KEY PLAN S=1:400



屋階建具 KEY PLAN S=1:400



1階建具 KEY PLAN S=1:400



3階建具 KEY PLAN S=1:400

北 棟

建具記号	開口寸法 (W×H)	数量	改修内容	建具記号	開口寸法 (W×H)	数量	改修内容	建具記号	開口寸法 (W×H)	数量	改修内容
ATAD1	3.65×2.76	1	シーリング打ち替え(15×10)	ATAW2	3.83×2.90	3	シーリング打ち替え(15×10)	AW1	3.83×2.45	1	シーリング打ち替え(15×10)
ATAD2	3.45×1.9	1	〃	ATAW3	3.83×1.5	10	〃	AW2	0.58×1.0	1	〃
ATAD3	3.73×1.9	1	〃	ATAW4	3.33×1.3	6	〃	AW3	3.83×1.3	2	〃
ATAD4	3.83×2.76	1	〃	ATAW5	3.83×1.3	36	〃	AW4	1.60×0.9	1	〃
ATAD5	1.68×1.9	6	〃	ATAW6	5.31×1.3	3	〃	AW5	1.60×1.9	1	〃
ATAD6	0.58×1.75	1	〃	ATAW6'	5.31×1.3	3	〃	AD1	0.6×1.9	1	〃
ATAD7	3.88×2.33	1	〃	ATAW7	2.915×1.3	3	〃	AD2	1.8×1.9	1	〃
ATAW1	3.83×2.10	30	〃	ATAW8	0.58×1.0	23	〃	AD3	1.8×1.9	1	〃
ATAW2	3.83×2.90	18	〃	ATAW9	1.87×1.3	1	〃	SD1	2.8×1.9	1	DP塗替え(網部分を含む)

共通事項

設計変更年月日	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名  
図面名

神崎小学校屋根・外壁改修工事

建具リスト

設計図

縮尺

設計 2026年 3月 日

神崎市教育委員会

福島安信建築設計工房  
一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号

〒842-0007  
佐賀県神埼市神埼町田道ヶ里2275-11  
TEL 0952-53-5994 FAX 0952-52-8305

図番

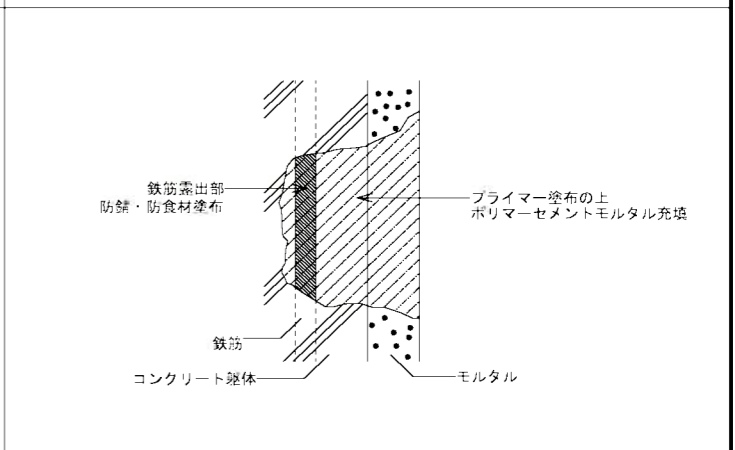
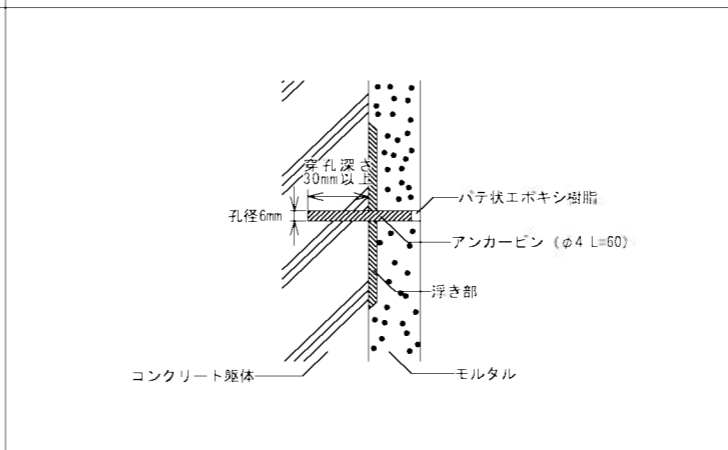
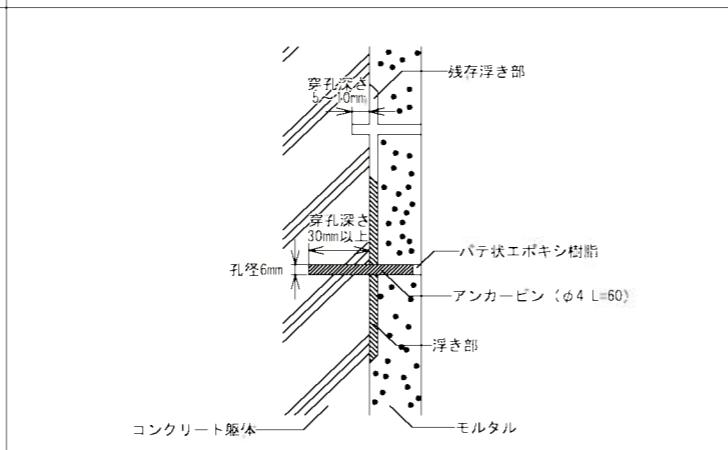
25/A

外壁改修工事 標準仕様書	浮き部補修 (0.25㎡以上/箇所) アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	浮き部補修 (0.25㎡未満/箇所) アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	鉄筋露出部補修 (W=100未満×L=300未満/箇所) ポリマーセメントモルタル充填工法
--------------	---	---	--

(1) 共通事項  
図面及び本仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年度版」(以下、「改修標仕」という。)による。また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「標仕」という。)による。

(2) 改修対象別の工法

1. 浮き部補修 (0.25㎡以上/箇所)  
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
2. 浮き部補修 (0.25㎡未満/箇所)  
アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
3. 鉄筋露出部補修 (W=100未満×L=300未満/箇所)  
ポリマーセメントモルタル充填工法
4. ひび割れ補修 (0.2mm以上/箇所)  
Uカットシーリング材充填工法
5. 欠損部補修 (W=100未満×L=300未満/箇所)  
ポリマーセメントモルタル充填工法



工 程	施 工 方 法
1 浮き部確認	打診用テストハンマーを用いて、浮き部分を確認する。
2 アンカーピンの位置決定	浮き部の状態に合わせて注入孔の配置を決定する。 (一般部: 13㎡/箇所 指定部: 20㎡/箇所)
3 穿孔	コンクリートドリル等により躯体に対し直角に穿孔する。孔径は直径6mm(アンカーピンの直径より約2mm大きい)とし、穿孔深さは、コンクリート躯体中に30mm以上達するまでとする。
4 清掃	孔内をエアブロー等により十分に清掃する。
5 エポキシ樹脂注入	エポキシ樹脂を詰めたグリスポンプにより1ヶ所につき標準で約25mlを注入孔に充填する。
6 アンカーピン挿入	エポキシ樹脂注入後、直径4mmの金ネジステンレスピン(SUS304 L=60mm)を挿入する。アンカーピンの頭は仕上げ面より5mm引込み程度にセットする。
7 表面仕上げ	アンカーピンを挿入後、表面をエポキシ樹脂により仕上げる。
8 残存浮き部穿孔	アンカーピン固定後の硬化後、残存浮き部への注入孔にコンクリート躯体約5mm~10mmの深さまで穿孔する。
9 清掃	孔内をエアブロー等により十分に清掃する。
10 残存浮き部注入	グリスポンプを用いて最下部より樹脂注入を行い、未注入部分が残らないようにする。
11 養生	(1)~(10)完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。
12 表面仕上げ	エポキシ樹脂により平滑に仕上げる。

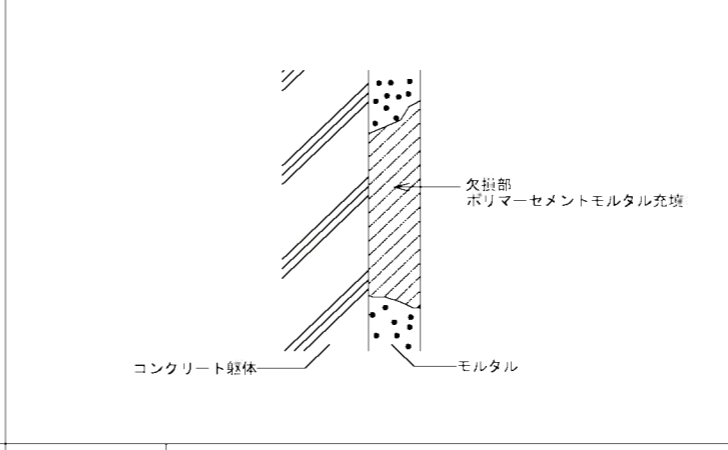
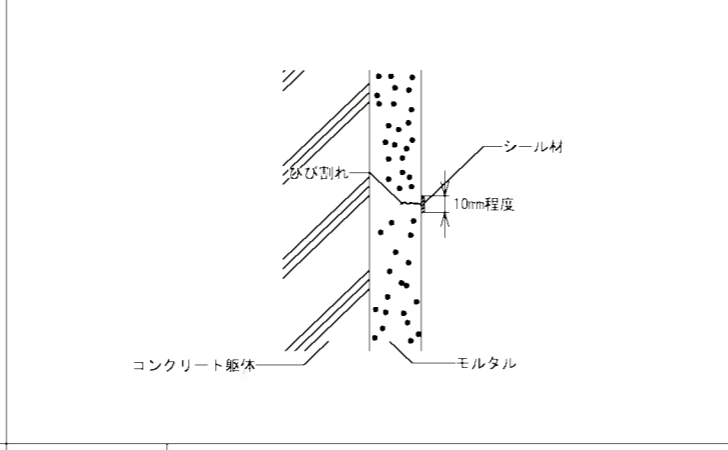
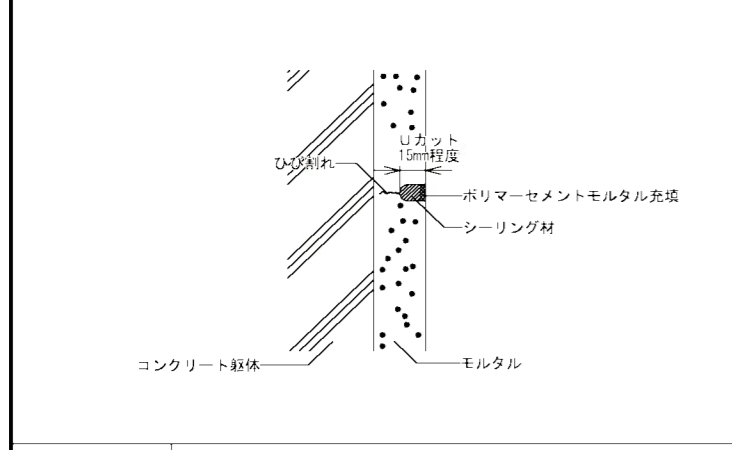
工 程	施 工 方 法
1 浮き部確認	打診用テストハンマーを用いて、浮き部分を確認する。
2 アンカーピンの位置決定	浮き部の状態に合わせて注入孔の配置を決定する。 (一般部: 16㎡/箇所 指定部: 25㎡/箇所)
3 穿孔	コンクリートドリル等により躯体に対し直角に穿孔する。孔径は直径6mm(アンカーピンの直径より約2mm大きい)とし、穿孔深さは、コンクリート躯体中に30mm以上達するまでとする。
4 清掃	孔内をエアブロー等により十分に清掃する。
5 エポキシ樹脂注入	エポキシ樹脂を詰めたグリスポンプにより1ヶ所につき標準で約25mlを注入孔に充填する。
6 アンカーピン挿入	エポキシ樹脂注入後、直径4mmの金ネジステンレスピン(SUS304 L=60mm)を挿入する。アンカーピンの頭は仕上げ面より5mm引込み程度にセットする。
7 表面仕上げ	アンカーピンを挿入後、表面をエポキシ樹脂により仕上げる。

工 程	施 工 方 法
1 露筋部の確認	目視検査により鉄筋の露出部を確認する。
2 下地処理	露筋部を丁寧にハツリ除去し、清掃で強固なコンクリート下地を出す。
3 清掃	露筋の錆部をケレンの上、ワイヤーブラシ等で清掃し、錆部及びその周辺に浸透性防錆材を塗布する。
4 プライマー塗布	プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
5 ポリマーセメントモルタル充填	露筋部にポリマーセメントモルタルを充填する。
6 表面仕上げ	ポリマーセメントの表面を加圧しながら平滑に仕上げる。
7 養生	施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。

ひび割れ補修 (0.2mm以上/箇所)  
Uカットシーリング材充填工法

ひび割れ補修 (0.2mm未満/箇所)  
シーリング工法

欠損部補修 (W=100未満×L=300未満/箇所)  
ポリマーセメントモルタル充填工法



工 程	施 工 方 法
1 クラック確認	目視検査により、ひび割れ発生の有無を確認し、幅を測定する。
2 Uカッ	クラック部に沿って、ダイヤモンドカッター等で幅10mm、深さ15mm程度にUの字にカットする。
3 清 掃	Uカット構内部に付着しているハツリ片、粉塵等をワイヤーブラシ等で除去する。
4 プライマー塗布	プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
5 シーリング材充填	シーリング材をUカットした部分にカートリッジガンで充填し、金ペラ等で平滑に仕上げる。
6 表面仕上げ	ポリマーセメントモルタルを充填し凹凸のないように仕上げる。
7 養生	施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。

工 程	施 工 方 法
1 クラック確認	目視検査により、ひび割れ発生の有無を確認し、幅を測定する。
2 清 掃	ひび割れ部をワイヤーブラシ等で清掃する。
3 プライマー塗布	プライマーをひび割れ部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
4 シーリング材塗布	シーリング材をパテヘラ等により幅10mm、厚さ2mm程度に塗布し、平滑に仕上げる。
5 養生	シーリング材の硬化養生を行い、シーリング材以外の汚れ等を除去する。

工 程	施 工 方 法
1 欠損部の確認	目視検査により鉄筋の欠損部を確認する。
2 下地処理	露筋部を丁寧にハツリ除去し、清掃で強固なコンクリート下地を出す。
3 清 掃	コンクリート表面のレイタンス、汚れ等はモルタルの付着を妨げるので、デッキブラシ等で十分に除去する。
4 プライマー塗布	プライマーを構内部に小刷毛等でまんべんなく塗布する。
5 ポリマーセメントモルタル充填	欠損部にポリマーセメントモルタルを充填する。
6 表面仕上げ	ポリマーセメントの表面を加圧しながら平滑に仕上げる。
7 養生	施工完了後は、硬化するまで振動、衝撃等を与えないようにする。

共通事項	設計変更年月日	工事名	設計図	縮尺	NO SCALE	神埼市教育委員会			
	1回 年 月 日								
	2回 年 月 日								
	3回 年 月 日	図面名	神埼小学校屋根・外壁改修工事	設計	2026年 3月 日	福島安信建築設計工房 一級建築士事務所 佐賀県知事登録 へ693号	〒847-0007 佐賀県神埼市神埼町田道7225-11 TEL 0957-53-5594 FAX 0957-52-8305	図番号	26/A